関大

発行所
関西大学校友会
〒564
吹田市山手町3丁目3番35号
発行人　神屋敬民蔵
電話 06(388)[illegible]21代表
振替口座大阪[illegible]5594番

望遠鏡から顕微鏡まで
光学館 ぴっ
心斎橋2階

メガネ 大学堂
●京橋店 ●心斎橋店
●阪神百貨店 ●虹のまち店

育つか女性の学究

〝実学〟の学風を継承して

〝近現代女性史〟へ あと三年

博士課程取得の石月さん

まじめなので試験の成績はいいが、将来の研究者としては……といった〝女子大学生亡国論〟があった。彼女たちは熱い気炎で対決するのではなく、黙々とした勉学で、今日では死語たらしめた。関大でも例外ではない。四十四年に文学部を出て、四十六年、大学院修士課程を修了された森　孝子さんは仏文学科の専任講師として、四十二年発足した社会学部の第一期生の佐藤万亀子さんは副手として、それぞれ教学の一端を担っている。

後に続く人材にもこと欠かない。現在も大学院の修士課程で二十八人、博士課程で十人の女子学生が研究に余念がない。学部卒論で「大正八年に始まる全関西婦人連合会の歩み」をまとめ、未知の分野といわれる〝近現代日本女性史〟に取り組んでいる博士課程の石月静恵さん。「大阪府における満州移民退出」というユニークな修士論文を提出した原はるみさんなど。期待の学究が生まれようとしている。二人を指導する文学部・史学科の小山仁示教授は喜びも大きい。「関大の在籍学生の十数%にのぼる二千余人は女子。各学部の卒業生代表になるものも多い。女性の研究者を育てねばなりません」と意欲的だ。

テーマを、生活する庶民の中に求め、着実に実証を重ねる研究姿勢―〝実学・関大〟の学風継承者は、彼女たちかもしれない。

石月静恵さん（昭50学一史・52院修史）の卒論「全関西婦人連合会の歩み」が大阪歴史学会で発表されたときの婦人団体の反響はたいへんなものだった。

「大正八年に開かれた中之島公会堂での結成大会は、四千人の女性が集まり、高らかに〝婦人参政権〟を議題にした」

という衝撃的なものだった。戦前の婦人運動史の通説は、東京が中心で、大阪のものは〝修養団体〟だったといわれてきた。

「会場には東京から平塚雷鳥が出席し、〝セクトにこだわる東京では、これだけの人数は、集まらないだろう〟とあいさつしている」と、資料を添えて立証してある。

研究への端緒は〝活感覚の豊かな、大阪の街の女性が、大正デモクラシーに、なぜ無縁だったのか〟、という疑問から。

「学生だったからできたんですね。朝日新聞に、誰の紹介もなしに一人で訪ねてゆき、古い新聞をみせてもらった。一枚、一枚めくる毎日が続いた。幸い大正期の大阪における婦人運動のはしりは、朝日新聞が読者を増やすため、婦人記者を中心に教養講座の組織をつくったことがわかり、保存されている機関誌もみせてもらった。東京の国会図書館へもいった。

きょうも千里山の図書館に通う石月さん

研究室で小山教授から談笑の中に的確な示唆をうける原さん

激励や問い合わせ

「大阪論」講義に大きな反響

先月号（二八四号）一面トップに掲載された「関大授業に〝大阪論〟講義」の反響は大きい。多数の校友から聴講の問い合わせが相次いだ。しかし講義は一、二年次を対象とした教養課程のため、残念ながら「聴講生制度」はとられていない。担当諸教授のご配慮で、そのつどの研究成果を、本紙上で発表していただくようにしたい。

市民からの激励も多い。三月六日付で法人監事の戸根泰雄さん宛に、大阪市生野区鶴橋三の五、三宅製粉社長の三宅一真さん（関大）から激励の書簡が届いた。日ごろのお礼状のあと、

「貴大学では〝大阪学〟の教科を進められる由、大阪人、広くは日本人の喜び、と感激であります」

三宅社長は、大阪・船場の旧鴻池邸（東区今橋二）の表屋（二階建て）と主屋の玄関が、ことし一月に解体されたとき、「なんとか船場の〝シンボル〟を残したい」と、一億円以上の復元費を意にも介せず引き受けられた方だ。

壊された表屋は大正時代に改築されているため、三宅さんは奈良市鳥見町の自分の土地で江戸時代の姿に復元、鴻池家に関する資料室を設けて来春までに一般公開するという。

戸根監事は、大阪論のテーマ代表者の津川正幸経済学部教授は、専攻が日本経済史でもあるので、卒業試験の採点作業などが終わられたところで、ぜひ両者を会わせたいとハリキッている。

大阪府から満州移民

原さんの修士論文で実態

今月で博士課程（三年）の単位を取得し、四月からは名古屋の短大の非常勤講師をしながら、大学院であと三年〝近現代女性史〟と、取組むという。現在京大学院（経済）在籍の主人義訓氏（昭49学一経）とは、在学中に結婚。と、ともに日本育英会の奨学金＝博士課程はひとり月七万円＝をもらっての勉強。こどもはまだまだつくれないそうだ。

二十二万三百五十五人―これが昭和初期から終戦までに、家族ぐるみで〝赤い夕日〟の満州に（現・中国東北地区）に新天地を永めた開拓移民（満蒙開拓青少年義勇軍は除く）の総数である。この中に四十二百四十一人もの、農業をしらない〝転職・大阪班〟があったという。ことし本学大学院修士課程を修了する原はるみさんの〝修史論文〟で、その実態が初めて明らかになった。

大阪班は、昭和十年から始まり、十七、八年ごろの入植が多い。企業整備で転職を余儀なくされた人たちである。洋服屋、豆腐屋、建具屋、散髪屋から郵便局員、市電運転手など。その妻子の渡満は、終戦三カ月前の二十年五月まで続く。とくに同年三月の大阪大空襲の後に増えている。

ソロバンしか持たなかった手に、農耕作業はなじみ難い。加えて苛酷な風土。血のにじむような日々だったという。終戦時の引き揚げだけは少し幸いだった。展開していた浙江省の登平鎮などが鉄道に近く、また農民出身ほどの〝土地への愛着〟もなかったので、いちはやく行動し、迫害などは受けなかった。しかし、疲れ切った体を襲った発疹チフス、ジフテリヤ、赤痢等で三三%にのぼる一四〇六人が死にした。

転職、流離、運命を共に重ねてきただけに、互いの結束はきわめて固い。二十一年暮れ「大阪府開拓移民自興会」＝大阪淀川区野中二＝をつくり相互援助を続ける。自立重生がなった最近では、一歩進め、社会のためにと〝身体障害者のビハビリ〟を行っている。このような組織が現在までも続いているのは岐阜と大阪だけ。

「戦時下の大阪庶民の生活を調べていて〝移民〟を知った」と、原さん。小山教授のはからいで、近く神戸史学会の機関誌〝大阪特集〟に掲載される。

女子教学陣はただいま18人

三月一日現在の関大の教学の中での女性学究は次の十八人だ。

◇教　授(3)　清水好子(文)▽田尾洋子(工)▽山田富貴子(工)

◇助教授(7)　土屋繁子(文)▽二宮まゆ(文)▽北岡正子(文)▽田村典子(文)▽掛川トミ子(社)▽福留桂子(社)▽浜中佐和子(工)

◇専任講師(3)　孝子▽杉谷貞佐子小川静代▽森

◇副　手(1)　佐藤万亀子（社）

◇助　手(4)　いずれも工学部　伊藤孝子▽山内英子▽高橋昭子▽馬場昌子

関大の奨学生

3386名15・5%

昭和五十四年度の学部、大学院の在学生は二万一千八百一人。うち三千三百八十六人が日本育英会ほか、なんらかの奨学金を受けている。全学生対比で一五・五%。

日本育英会　月額二万七千円（一般）。特別奨学生は自宅通学が同二万九千円、自宅外が三万九千円。修士六万、博士七万。現在、関大生は二千七百二十六人が受けている。

関大奨学金　年額1学部二千円、他は十五万円。三百七十五人。

大阪府育英会　月額一万一千円百九十五人。

その他の奨学金　竹中育英会（月額三万五千円）、奥村奨学金（一万八千円）など企業の〝給付制〟のもので、九十人。

五十五年度はどうなるでしょうか。

喜びのたよりが校友会に届いた。

国際的会計士を次の目標に

古江誠司氏（昭47学一法・49学一商）デロイト・ハスキング・アンド・セルズ会計士事務所勤務。〒554大阪市此花区春日出北一の一一の七。

「第二次試験は昭和四十九年に合格した。外国系の会計事務所に勤務し、欧米流の会計監査業務に従事しているため、日本の会計監査業務にあまりなじみがありませんでした。

そのため、日本の制度を問う（当然であるが）第三次試験には苦労しました。……次の目標は、国際的会計士となることです」

卒業六年の苦闘　今満足感に浸る

神戸志朗氏（昭49学一商）プライズ・ウオーターハウス会計事務所勤務。〒658神戸市東灘区本山中町四の一四の一三。

「大学卒業の間際になり突然専門職に就きたくなり、会計士を目指してからまる六年、やっと合格しました。

振り返ってみると、やはり二次試験合格（昭和五十年度）までの不安な日々の思い出が強く残っていますが、今ではなつかしく、やっと終わったという満足感に浸っています」

士計会認公第3次試験

六校友が見事合格

近畿で神戸大に次ぎ二位

五十四年度第二回目の公認会計士第三次試験の合格発表が三月一日にあった。全国で千六十九人の受験に対し、合格は一九・五%の二百八人だった。本学出身では山本晃嗣（昭44学二法）、成瀬幹夫（昭46学一経）、南出喜治（昭47学二商）、古江誠司（昭47学一法・49学一商）、増井千代一（昭48学一商）、榊原志朗（昭49学一商）の六氏が栄冠に輝いた。

近畿財務局管内での合格者五十四人を出身大学別でみると、関大は神戸大の十一人に次ぐ二位だった。京大も関大と同じ六人。以下同志社五、関学四、大阪市大三、大阪経大二で、阪大、大阪府大、神戸商大、京都府大、京都産大の六校が各一。残り十二人は京阪神以外の地方の大学だった。

第三次試験は二次合格者が三年間の実務研修期間を経て、はじめて受験資格ができる。なお、この第三次が公認会計士の最終試験で、合格したものは登録できる。

最近はきわめて難しく、本学でこれほど多数の合格をみたのは、久しぶりのこと。昨秋、商学部在学生の石黒　訓君が第二次試験を合格したのに重ねての朗報で、関大学内はわいている。

関大在学中（植野　郁大教授ゼミ）に第二次を、助手時代に第三次に合格されている末政芳信商学部教授にお話しをうかがった。

「私のゼミ生からも三人。ほんとうにうれしい。本学の公認会計士試験研究会では、つねに三十数人の学生が第二次にむけて熱心に勉強している。女子学生もなかなか優秀で、近いうちには合格第一号が出てくれるものと思う」

校友会組織部長の畑下辰典公認会計士は、次のようにアドバイスしている。

「資格試験は、ほんとうにむずかしくなった。というのは試験内容が原則論よりも、いりくんだ技術的な問題が多くでる。まず第二次に合格することが肝要で、学内での指導も、この点を留意し、きめ細かく取り組んでほしい」

第三次合格者のうち二校友から

事業計画案など策定

本年初の常議員会開く

今年になって初めての校友会常議員会が、三月七日午後五時半から、大阪東区北浜の大阪証券会館で開かれた。昭和五十五年度の事業計画案と、それにともなう九千二百四十四万五千円ほどの収支予算書案を決定した。これらの案は三月二十九日午後一時から、母校千里山キャンパスの関西大学会館で開催される第三十三回定例代議員会で、審議される。

五十五年度は校友名簿改訂版の発行と、法人役員の任期満了にともなう校友評議員候補者の推薦、といった四年目ごとの節目の年。さらに母校創立百周年を数年後に迎えるとあって、事業計画案は慎重に審議された。

活発な質疑応答で慎重な審議が行われる常議員会

最近の物価上昇、中でも本年十月から予測される郵便料金の改訂など、にともなう校友会財政の深刻な影響などについても質疑が交わされた。最終的に事業計画案は次の八項目にわたって策定された。

一　校友総会の開催
二　校友名簿の発行
三　機関紙〝関大〟の発行
四　校友評議員候補者の推薦
五　組織活動の推進
六　事業活動の推進
七　会員の慶弔
八　財政基盤の確立

校友の出版活動

〈紹介〉

最近は校友のみなさんの出版活動が、なかなか活発である。相次いで校友会事務局に寄せられるものは、いずれも母校関大の学風をふまえ、堅実な資料収集の上に立って記述されたユニークなものばかりである。以下、数点を紹介し、校友諸氏の〝知的生活〟のよすがとしたい――。

「岸和田紡績の争議」

小学校教諭の松下さんが自費で

大阪府泉佐野市立長坂小学校の松下松次教諭（昭52学二史・三十歳）は、このほど「岸和田紡績の争議」―A5判・一七五㌻―を自費出版した。

岸和田紡績は明治二十五年に岸和田市内で設立され、昭和初期には十大紡績の一つに数えられたが、昭和十五年に大日本紡績に合併された会社。この岸紡に朝鮮の女性が初めて就業したのは大正七年。当初は五十人だったが、その後増え続け、最盛期の昭和二年には約二千人にもなっていた。待遇は「女工哀史」といわれる日本人労働者よりも一段と悪く、その不満が爆発し大正十一年、昭和四年、同五年に大争議が起こったという。これらを七年がかりの資料収集、研究で集大成したのが、今回のものだ。

松下さんは四十四年、岸和田の定時制高校を卒業した。在学中、机をならべた女子生徒のふとらした話が忘れられなかった。彼女らは、ほとんどが紡績工場に勤めていた。泉州の機業地の歴史を本格的に調べてみようと、四年後の四十八年に関大二部史学科に入学した。関大図書館はもとより、国立国会図書館、法政大学大原社会問題研究所麻布分室にも足をはこび、資料を収集した。当時の府知事が内務大臣に提出した報告書と、同五年に大争議が起こったときの婦人参政権運動の資料とを比較、研究した。

「これらをもとに卒論「近代紡績業と朝鮮人」岸和田紡績会社を中心として」を五十二年の春にまとめた。

担当の小山仁示教授は、大阪歴史学会近代史部会誌の「近代史研究」に発表させるとともに、膨大な資料をそのままにしておくのは惜しい、さらに分析を加えて刊行してはと助言、今回の出版となった。

自費出版は五百部。希望の方に送料込みの千二百円で配付したところ、希望が相次ぎ、近く五百部を増刷する。自宅は〒596岸和田市西の内町三一〇の一。

校友会事務局からお願い　松下さんは、大切な子どもを教育されている小学校教諭。勤務先の学校への問い合わせは、ご遠慮下さい。

「食べ歩きの絵本」

丸岡さんが〝舌〟で編集

講談社が〝若い女性編〟と銘打って出した「食べ歩きの絵本」―A4判・一六八㌻・六九〇円―の京都・神戸・大阪の巻が、またたくまに七万部を売り尽した。

この本を編集したのは、㈱セールスプロモーションロビーの丸岡武社長（昭32学二法）。なにごとにも意欲的に取り組まれる丸岡さん。実際その舌で、味わっての記述だったらしい。

それだけに「めし」の町、食い倒れの大阪人のフィーリングにピタリ。なかでもエレガントなOLには「私らいくお店、みんな載ってるワ」と。若い男性にとっても、必読の書〟となったわけだ。

丸岡さんは校友会の広報部員、楽しい食べ歩きの記事が、本紙を飾る日も遠くはあるまい。

野里小60年史を刊行

沢PTA会長の尽力で

大阪市立野里小学校では創立六十周年記念誌として「野里―わたしたちの学校と町」―B六判・四〇㌻―をつくり全校生徒六百人に配布した。

わたしたちの学校ができてから（大正九年四月）、六十年たちました。近ごろになって、野里の町には、その前にも学校がつくられていたことが明らかになりました。大正九年より四十年以上も前の明治七年一月です。初代校長の松浦孫三郎先生のお墓は明治十五年につくられ、今も町の人によって、ていねいにまつられています。

昭和九年九月二十一日の台風では、となりの姫島小学校では木造二階だての校舎がたおれ、先生一人、管理作業員さん一人、子ども十一人が下敷きとなって亡くなりました。

昭和十九年からの集団疎開では子どもたちは徳島県の田舎の三つの村に分れていき、お寺で寝ました。

戦後は丈夫な工場の煙で健康を害するようになり、四十六年には全教室に、空気清浄器がとりつけられました。

六十数葉の写真もしらって、学校と地域社会の固いきずなを楽しく知らせてくれる。沢　勲会長（昭42院博工）をはじめとする同小学校PTA役員の多大の尽力で完成している。

右から西尾流「商品学」　**沢PTA会長**　**旧職員名簿**

旧職員名簿と年譜

関大一高三島名誉校長が

関大一高の三島律夫・一高名誉校長（大11専商）がエッセー集・「焼けぼっくいのうた」―B六判・五二㌻・非売品―をつくられた。三島さんの最近一年間の随想が中心だが、厚子夫人も、表紙の題字を手の不自由な先生に代って書かれ、書中、夫を気づかう短歌をもはさんでおられる。

左手に随筆をかく健気さよ
老天は木陰を咽つことなく

表紙の絵は中三のお孫さんの千秋さん。限稿の下見や校正は次女の理子さんご夫妻とか。家族の愛情が生まれた心温まる本だ。

出色は巻尾に掲載されている「関中・一高・一中年譜」と「元一高・一中職員録」だろう。この旧職員名簿は六十四人の教職員の住所、電話番号が明記してあり、故人については亡くなられた年月日まで入っている。取材にはたいへんな苦労があったと思う。一中一高をこよなく愛し続けられる三島さんの心情がにじんでいる。

ニーズにマッチした商品構成
バース・ハンドバッグ・カバン専門卸商社
株式会社 廣島屋
取締役社長　藏田廣造
（昭25学1経）
本　社　〒541 大阪市東区博労町1-26
TEL 06-261-2431(代)
営業所　大阪5・東京1

●サラリーマンの財産づくりに―
ダイワ 財形信託
●天引きで貯めやすい
●高利回りの信託
●積立金は1,000円から
●優とは別枠で 500万まで無税の特典
長い人生――頼りがいある銀行を持つべし。
大和銀行

ダイヤモンドホーローバス製造元
各種大型プレス・製缶事業
赤井物産株式会社

高級染料及び中間物製造販売元
神戸化学工業株式会社
大阪興業株式会社
新東生コンクリート工業株式会社
取締役社長　赤井常隆
本　社　550大阪市西区北堀江一丁目一一八
電話大阪(五三二)八代表三六二一～六番
支店・営業所　東京・名古屋・福岡
工場　静岡・川西・神戸

会計事務所各位
JDL会計事務所専用コンピュータ
―端末機ではありません―
¥46,000/月
コンピュータ価格の常識を打破した〝JDL 208 model 1〟。
発表以来半年ですでに500人の先生方がご愛用です。
毎月の使用料は、なんと従来の約十分の一。わずか46,000円です。もちろん、会計業務を十二分にこなす高性能。会計事務所の必需品としてお気軽にお使いいただける、まさに、一事務所一コンピュータ時代に対応した画期的マシンです。
JDL 208 MODEL 1
JDL 208 モデル1 会計事務所用プログラム
●合計残高試算表●総勘定元帳●経営分析表●比較貸借対照表●月次比較損益計算書●資金繰実績表●決算報告書●青色申告書●補助簿●減価償却明細表●給与・賞与・年末調整●販売管理システム
お問い合わせは
株式会社デジタル
本　社 〒542大阪市南区安堂寺橋通2丁目33番地 新関ビル ☎(06)281-2755㈹
京都営業所 〒600京都市下京区七条通烏丸西入 山本ビル ☎(075)371-6407

駸々堂
しんしんどう
日本人の心のふるさと飛鳥とその時代像を再現！
講座 飛鳥の歴史と文学①
横田健一 網干善教 編
百年余、政治と文化の中心地として都が営まれた古京飛鳥。その時代の歴史と文学の実像を斯界の専門家により解明する。
A5判・二〇〇〇円
飛鳥の遺蹟 網干善教 ――A5判 二〇〇〇円
飛鳥地方にねむる数々の遺蹟の発掘を陣頭指揮し、飛鳥研究で知られる著者が、調査の成果とエピソードをまじえて語る飛鳥発掘ノート。
和紙の四季 町田誠之 ――A5判 二三〇〇円
正倉院の和紙研究で知られる著者が、世界でも美しさと強さでは比類がないといわれる和紙の魅力と特性を十二章にわけて綴る科学随想。
京都市中京区堀川通二条上ル谷田ビル3階 電話075-221-7864 郵便振替・京都12996
本社営業／大阪市南区塩町通4-35　東京営業所／東京都文京区後楽2-23-6松東ビル

政治浪漫
変化球はいらない
参議院議員（全国区）関西大学校友
はた豊著

B6判・九八〇円
永田町きってのユニークな個性が、危機の八〇年代をしたたかな眼で見据え、その展望を語る。
毎日新聞社刊

行事と集い
◆第33回定例代議員会　3月29日（土）午後2時　関西大学会館
◆関西大学・学部入学式　4月8日
◆関西大学・大学院入学式　4月10日
◆友粋会総会　4月12日（土）午前10時　京都祇園ホテル
◆枚方支部総会　4月29日（祝）午後4時　農協会館4階　大鳳閣

葬の栞
早稲田大学商学部の問題漏れは、印刷された本物が全科目にわたって流れていた。悪のルートでは、模範解答までが用意されていたという▼もともと私学には特色を出すため、独立大学と違った入試という考えがなかったわけではない。スポーツなど特定の才能に恵まれた若者とか、大学の発展に貢献した人の子弟らには特別のワクをつくってはという考え方である。前者は、とかくの〝情実〟を生み、後者は一部私大医、歯学部で明らかにされた、ヤミ寄付金を積み上げての〝裏口〟攻勢となり世間の指弾をうけた。多額の国庫助成を受ける昨今の私学は、国民大衆のものであるから当然の帰結であろう▼そこでどこからも咎められない〝学力〟至上、○×式による明快な?入試方法が確定した。コンピューターによる集計も、〝公平さ〟を証明してくれた。これに大学への進学希望者の激増がからんで、一点、二点を争う受験大戦争となった。昭和四十年ごろから、あちらこちらの大学で問題漏れが起きてきた理由である▼問題作成に当たった教授自身が漏らした慶大商学部、印刷先の刑務所から問題用紙を盗まれた大阪大、大阪市大の医学部。〝悪の型態〟は枚挙にいとまない。ふりかえって関大をみると情実、裏口寄付は一切ない。法人付設の一高からの進学も○×式テストの点数順で公正そのもの。まことに結構づくめだが、それに安住するだけでことたりるものか▼地方試験で二百数十点（五百満点）の受験生が、数日後の本校でのテストで三百数十点をあげて合格したとかいうこともあったらしい。ためにする〝ヴウサ〟であろうが〝○×式〟も〝学力〟を計るには決して最良ではない。それにもまして、私学としては税立大学にない〝ユニークな人材〟を発掘する独特の入試方法が模索されてもしかるべきであろう▼いまの方式では、定員の三倍近い合格者を発表し、入学時の定員割れの心配を繰り返えすだけ。早大の悲劇は〝人生劇場〟的若者を汲み上げることを忘れた画一的な〝点取り〟にある。もって他山の石とすべきであろう。

北から・南から　各地支部だより

燃ゆる女子校友

紅一点から複数参加へ

最近、地域支部からの総会だよりは、いきいきとしている。初の紅一点も加えて……。それが、数人もの女子校友の参加があり…、と発展するムードである。新卒生を加え、若い校友が多いことも、明日の力を約束してくれそうだ。

従来から女子校友の出席が、なかったわけではない。同期会やクラブのOB会への出席は、かなり積極的に行われてきた。しかし、地域支部の集いとなると、大阪の一、二の支部で、やっと紅一点の参加をみてきたにすぎない。

最近は京阪神地区の地域支部総会では数人が、というのも珍しくない。備後、富山といった遠隔地支部から寄せられた総会写真にも女子校友の姿が写っている。愛知支部、また職域支部の西宮市役所秀麗会では、福引などを取り仕切っている。

五十三年の春、五十余の女子卒業生を対象に、女子秀麗会が誕生した波及効果とみてもよいだろう。彼女たちは関大人としての存在感を意識した。燃えているだけに、校友会の集いに注ぐ目も熱い。ときには、てきびしい批判も出てこようというもの。女子校友の声を集めてみよう。

母校の盛衰はわが参加から

★**京都支部**に四年連続参加の**沢井栄子さん**（昭43学一英）＝電電公社勤務・〒607京都市山科区竹鼻西ノ口町五八。

「支部総会の案内通知を手にしたのが四年前のことです。最初に出席した女子校友ということで、以来、支部のお手伝いをしています。昨年は、女子校友の参加も三人となり、心強く思っています。この何年かを振り返って、校友会にさわやかな息吹きを注ぐ"新しい力"が芽生えつつある。一つは、数こそまだ少ないが、地域支部の総会に色どりを添えてくれる女子校友の姿。他の一つは校友会の組織にまではなっていないが、恩師・母校を慕う心で、盛り上がりをみせてきた「同窓ゼミ会」である。みんなで温かく育てていきたいものである。

会といったものは、自分の利となる、利とならないといった目先だけのことで集うのでは、出席このものが、長続きしないということを、学んだように思います。

地味な活動ですが、一人ひとりでが母校関大の発展も衰退も、自分次第といった積極性をもって、校友会活動に参加することが大切だと、つくづく思う昨今です」

校友会を通じ愛校心育てる

★**八尾支部**の新卒者歓迎会に出席の**山本治子さん**（昭54学一中）＝〒581八尾市植松町二七の一八。

「地域支部があるのは、いいことだと思います。私が参加したのは新卒業生歓迎の支部会でした。新卒生はたったの五人、全員で三十余人といったら、さびしいものでした。どうして、みなさん、もっと参加しないのでしょうか。これでは企画された水野支部長さんがお気の毒です。

一つには学生同士の地域的繋がりがないこと、いま一つは我が母校はマンモス大学のため、愛着や誇りをもてないという者も多いと思います。

これはとても悲しいことです。とくに卒業してしまうと、本当に大学との繋がりが切れてしまったように思います。校友会を通して絆を深め、愛校心というものを大切にしていきたいと思います」

山口県に支部をつくりたい

★**枚方支部、体育OB会、女子秀麗会**へとご活躍された**国広**（旧姓大橋）**ふじ子さん**（昭51学一中）＝〒75山口市吉敷上東二八三六。

「枚方支部の集いに昨年参加しましたが、女子は私を含めて二人右をみても、左をみても男の方ばかり。それもおじさまがほとんどで、若い方は数えるほどでした。そのかわり、すいぶん丁重に扱っていただきました。

体育OB会＝私は在学中、なぎなた部も同じような感じで、もっと若い校友の皆さんが、積極的に参加してくださればと思います。

女子秀麗会は、結成されて二年という若い会ですが、けっこう若い方も多く、なにかりも充実ばかりなので、気楽なムードです。

昨年、関大法学部を出た主人（国広幸男氏）と結婚し、現在は山口に住んでおります。大阪を遠く離れるとやはり大学が懐かしく、こんど、山口県に支部をつくろうかと、県下の友人と話し合っております」。

子どもたちも心からの声援

★**子予科有終会**に出られた**山本文子さん**（昭28学二経）＝〒657神戸市灘区稲荷町、一ヲ二の七。

「昨年、石田（旧姓・港）鮭子さんに誘われて、有終会に初めて列席させていただきました。三十年も昔のお友達と……。最初は不安な気持ちでしたが、お互い顔を合わせるとわかるものですね。くせ、話しぶり、そのままで懐かしく、学生時代のままの楽しいひとときを過ごさせていただきました。

名残り惜しい思いで家に帰ると子どもたちが「お母さんお帰り。楽しかったんだね。今日のお母さんはとても若くみえるよ」といってくれました」

宴盛り上がり居心地も上々

★**京都支部総会**に初参加の**平山多恵子さん**（昭49学二仏）＝ピアノ、エレクトン教師・〒605京都市東山区本町二十二目。

「総会の案内状にシャレた数字が並べていた――11月11日AM11時――に惹かれたのかもしれません。初めて参加しました。会場は祇園ホテル。同級生も来ているだろうと気軽に行ってみたが、何と女子校友は三人だけ！最初はがっかりしました……。

そのうち生バンドをバックに宴が繰り上がった。思いがけず本下支部長から"歌"をご一所望され、またまたびっくり。……一曲歌うと以外にも気分上々！（会の雰囲気がよほど良ったのでしょう）

諸先輩のお話をうかがいながら関大校史も学べたし、また、珍しい樫本校友会長の「剛毅郎」を聞き、陶芸作家・七里先輩の作品を拝見するなど楽しい一日でした。

◇副支部長　村松康作（昭31学二法・押谷雪三法律事務所）▽長田義明（昭32学一法・日立造船）▽高野武文（昭34学一法・陽光専務）

◇監査　徳野豊（昭28学一法関西電力）

◇幹事長　中橋紀司（昭35学一経合同建材鉄扉製作所）

連絡先　〒538大阪市鶴見区今津南四丁目二の三八。松井倉庫内松井潤次あてに。電話〇六―969―二三二一番

（新しい顔も多い尼崎支部総会）

内外国特許・商標・出願全般
鈴木国際特許事務所
所長・弁理士　鈴木武夫
大阪市西区北堀江一丁目七番三号
大花興産ビル2F・3F
（四ツ橋交差点西角地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央西出口隣）
電話　大阪〇六（五三一）七四三一～七四三五

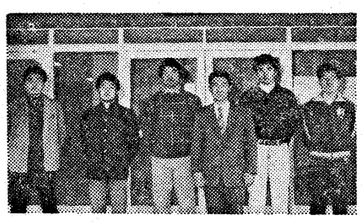
巣立つ青春群像、あれこれ

キャンパスに拾う惜別関大

これまでならば三月十日前後に卒業試験の成績が発表され、あわただしさを増す大学も、今年はレポートになったため、結果発表が二十二日にずれ込んだ。このため各学部の卒業総代はもとより、新しい校友の総数もまだわからない。しかし学内外では"別れ酒"の宴（うたげ）があちらこちらでみられる。四春秋の多様多彩な青春譜が回顧されているのだ。

一方、三月三十一日付で工学部の谷村正義、野々村五四男、菅田豊重の三教授と文学部の吉田安雄教授が定年退職される。職員では勝統二十六年の山脇　智氏（学生課）、福西照子さん（第一学生課）ら五人が去られる。文学部の田中英三教授と法学部の浅田和茂・助教授は依願退職。

まさに年々歳々人同じからず。以下は早春のキャンパスに拾った"惜別関大"の点描である。



（写真右から三人目が山脇氏）

山脇"凱風"はもはや吹かじ

山脇　智氏の関大での定位置は「凱風館」の玄関口だ。三月三十一日までは。

昭和十三年・旧制関大第一予科へ入学。在学中に拳法四段。主将であった。昭和十八年経済学部を仮卒し、海軍予備学生飛行科十三期。ゼロ式水上偵察機乗りの海軍中尉。法学部の桜田誉教授とは同じ航空隊の同期の桜だ。昭和二十八年から本学の事務職員。

寡黙、静寂の物腰からは"拳法一筋"九段の気迫は伝わってこない。池田市東山町、円成寺のご住職として仏道を会得されているためか。ときにキラッと輝く眼光に、ハッとするのは昔からの山脇さんをしるものだけだろう。

「意外に知られていないが、関大生は礼儀正しい。バンカラが消れる。

相撲部吹留君の送別コンパ

へ七っ転んで
八つで起き
花を咲かせる
身じゃないか

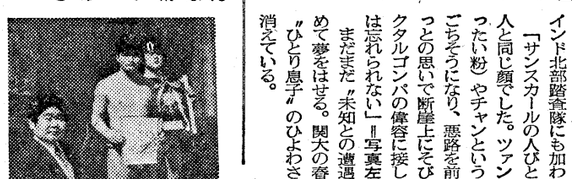
三月八日、暮色の千里山上ダ寒い早春の風にのって胴間声が流れる。

関大相撲部の部室での送別コンパだ。送られるのは吹留俊宏君（商）＝写真真ん中＝ただ一人。残るも女子マネージャー木村佳也さん（社三）を含めても、わずか三人。しかし宴は川口浩監督はじめ先輩も加わって結構盛んだった。

「体力づくりを念じ大学で始めた。苦しかったのは稽古よりも試合の場合、部員数の不足から、他部の応援出場をお願いにまわったことだ。毎春行った朝日山部屋への体験入門で、一つのことに打ち込んでいる力士の、人間としての明るさを知った」

入学時一七一㌢・六五㌔、現在は一七三㌢・七六㌔。神奈川県警の採用が決定している。ランクはえたのは当然でしょう。共学なんですから。男子学生もみだしなみを考えます。伝統の頑張り精神は女子学生にも引き継がれています」

現役学生にとっては過分のほめ言葉。この"凱風（人物を育てるという、南から吹く和やかな風"も四月には吹かない。



探検部卒業に懸命の西川君

卒業レポートの提出期間も過ぎたというのに、探検部の部屋でせっせとエンピツを走らしている西川栄明君（法）。

「北米大陸カヌー縦断の記録ですよ。これをまとめておかないと法学部は卒業できても"探検部"をネ」

と笑う。西川君は五十一年夏のインド北部踏査隊にも加わった。

「サンスカールの人びとは日本人と同じ顔でした。ツァンパ（ほったい粉）やチャンという地酒をごちそうになり、悪路を前進、やっとの思いで断崖上にそびえるプクタルゴンパの偉容に接した感激は忘れられない」＝写真左端＝

まだまだ"未知との遭遇"を求めて夢をはせる。関大の春秋で、"ひとり愚子"のひよわさは全く消えている。

学生チャンピオンもまた…

相撲部室の下にある馬場にライトがついた。全日本学生障害飛越競争で優勝した高橋伸夫君が、OBと共に馬の調教をしている。

「動物さきなので一高・関大と七年間、馬ひとすじにきました。優勝はこのマイネクライネ号のおかげです」

学生チャンピオンといえば、今年は三人も出た。学生課の原田主任に連絡をとってもらう。

拳法の宮下満君は旅行中。ライフル射撃学生日本一の片山和俊君と電話で話す。

「大学に入ってから始めたが、大正時代からのわが部の誇りを守れてうれしい。射撃は点数のスポーツ。一発打って、次は、前の点数を忘れ無心になることでした」

これらスポーツに打ち込まれた青春は、それぞれに明日に生きる極意を会得したようで、全く悔いなしだ。

女子ハンドボール部ひっそり

女子ハンドボール部の部室はカギがかかっていた。部の中心だった江口洋子、久語三智子、吉安敦子、西埜和子（以上社）、高橋千尋（工）の五人のみなさんがそろって卒業したためだ。あとには一、二年生が、それぞれ二人ずつ残っただけだという。

「ハードなスポーツなので、なんどやめようと思ったかもしれないが、部員が少なくてやめられなかった。

五人はお互いに人間としての短所も、長所も、からだで覚えた。そのとき（今春）一部に昇格したし（写真）生涯の友達もえました。

ボランティアに賭けた珠算部員

学内を聞き歩きして"ボランティアに賭けた"謙虚な青春のあることを知った。

文化会珠算部は十数年前から神戸市垂水の県立盲学校で、毎週水曜日の午後六時から一時間、寮の小・中学生に盲人用ソロバンを教えてきた。

西村保祐君（経）は述懐する。

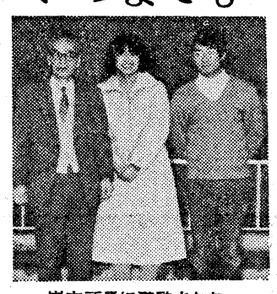
「目の悪いこどもなので私たちに対し警戒心はもっている。が、

"法の心"はいつまでも

法律相談研究所の学生は、二年次から、毎週一回・天六の市民会館に出張し、夏には地方で巡回相談を開所、悩める庶民の声を聞いてきた。

協和銀行に就職する吉川豊君と、東洋ベアリングへの田口祥子さんに話を聞く。

「入ったのは"社会の心"を知りたくて。岩本所長や明石先生の応対は、法とは権利の主張でなく、条文を媒介としての社会の調和だと知りました。離婚話でも権利を吹き込むよりも、なんとか円満解決の糸口をと、腐心された姿が印象的でした。法律とはあまり関係のない職場へ進みますが"法の心"は失いません」



岩本所長に激励された吉川君と田口さん

悔いなき熟年と野々村教授

野々村教授

「"建築図法"を一年次から取り入れたのが、いまでは本学の特色になった」

野々村五四男教授は、本学建築学科草創期（昭和四十二年）の立役者だった方だ。

「教授も学生もパイオニアとして燃えていた。経済の高度成長期とも重なり、心配していた卒業生もひっぱりだこだった。世間に誇りの"乱調の美"の中にこそ、もっと価値を見い出さなくては」とおっしゃった。

野々村博士は四月から福井工業大学の専任客員教授。本学には週一回、講師で。

学士入学の古屋さんも

第二部（夜間）の卒業試験の発表は三月十一日あった。古屋大二郎さん（社）＝写真＝は、四十四年に千里山の法科を出て、神戸市役所に勤務、五十二年の学士入学者。

「三十歳を前に、わが頭脳をクリーニングしたかったから。マイク講義の千里山にくらべ、ここは少数教育でほんとうに楽しかった。年齢が若い人と千歳ぐらいもちがうが、問題はなかった。社会人の生涯教育のため、もっともっと"天六"を活用してほしい。いろんなカリキュラムも考えられるはずだ」

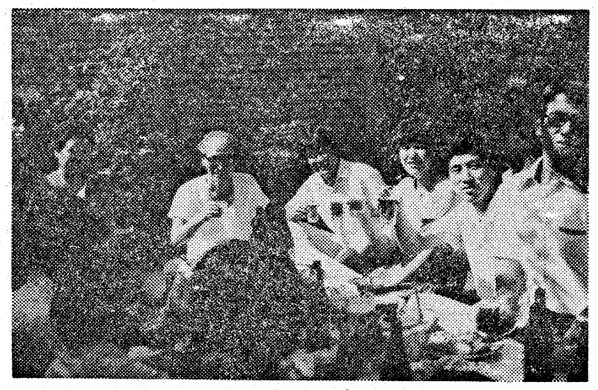
二十五日の卒業式が待ちどおしいともいう。高岡幸弘先生の指導で社会学部の学生が庶民の街を取材した、わたしたちの研究書「天六夜噺」ができあがるのだ。表紙の和紙は、昨夏、みんなで西宮市名塩の和紙工房にまで、出向いていたものだという。和綴じにして三百部を出す。実費千五百円で販売される。

なにかの拍子に心を開いてくれると、あとの教えやすかったことが心にとまる」

山下明美さんは、心の明るさにを教えられた。

「いうまい、いうまいとすると逆に、眼のことが口に出る。はっとすると、子どもの方から、お姉ちゃん、ボク眼がみえへんのや、と笑って助けてくれた」

大島特許事務所
所主　弁理士　大島武夫
弁理士　大島泰甫
〒550　大阪市西区江戸堀一丁目二五―三〇（とみたビル）
電話（四四一）二一〇〇・二三九四（四四五）〇一五〇



岩本教授宅のお庭で奥さんの手料理のゼミコンパ

結束固い同窓ゼミ

「慧節会」にみるその実態

「五十人の中の一人、ということに連帯意識が持てますか！」と、今春、巣立つ現役学生が言う。三十二年卒業の「三三会」いらい、同期会が結成できないわけだ。一回の連絡用の葉書代でも十万円。宛名書きを考えただけでも気が遠くなろう。

「しかしゼミグループは別です。二十数人の中の一人ですから"存在感"があると言う。共に語り、論じ、ゼミコンパやゼミ旅行で泣き笑いした。青春・関大が、そこにあるという。同窓ゼミ会の結束は固い。

その実態を法学部・岩本慧（さとし）教授を囲む「慧節会」から探ってみよう。

ゼミ同窓は三十一年度から。当初は卒業年度別の同窓ゼミ会だった。十五年目ぐらいに各年度会を統合し、事務局を岩本教授研究室内におき、現役とOBのゼミ生でもって「慧節会」を創設した。今日では二十五年間のゼミ生・六百余人の組織を誇っている。会則・会員名簿を整備し、毎年、九月の第三日曜日に大阪市内のホテルで開く総会には、百五十人を超える参加がある。

ユニークな"慧節"という会名の中に、今日的問題が浮き彫りされている。岩本先生と節子夫人との組み合わせでできている。本来は「商法」という学問的演習の場が、教授の家庭を媒介としての人生の縮図的演習にまで広げられているのである。現役ゼミ生の身上相談、就職関係への腐心。家庭に招いて開くコンパもある。OBゼミ生が「そのうちに私のことともよろしく」と"孫ゼミ生"の誕生にまでもつながっている。

学問と家庭で、つながる総会には、同伴出席が多い。現役とOBが一体となる集いの話は、学風が語られ、母校の発展が学問的視野から祈られる。ゼミ旅行で教授から真伝された学歌、逍遥歌が高らかに歌いあげられるという。

マンモスゼミ化した大学の校友は、各教授の研究室をただ一つのきずなとしてつながっている。先生方の、そしてご家庭のご苦労はたいへんなものだ。教授研究室と校友会事務局との適切なドッキングこそ、早急に模索されねばならない今日的課題ではなかろうか。

南紀へのゼミ旅行から帰ってこられたばかりの岩本教授にお話しをうかがった。

「送別の"別れ酒"ではない。門出の"祝い酒"に酔いました。ゼミ生には卒業はありません」と。

太平洋の海より深い師の恩だ。

鶴見支部を結成

初代支部長に松井氏（昭28）

「'80に集う親睦と友愛」――の呼びかけに応えた大阪市鶴見区内の校友百余人が、二月二十三日午後三時から区民ホールに集まり、華やかに「鶴見支部」結成総会を開催した。＝左の写真＝鶴見区は昭四十九年、城東区から分区して生まれた若い行政地域。キャンパスの心を鶴見に再現し、地域活動を通じて母校の発展に寄与しよう、と地元校友が三年来準備を進めてきた。校友会組織部も役員を"地区割り担当制"にした組織強化策の第一号としてバックアップしてきたという。

総会は母校応援団吹奏楽部の演奏するメロディーの流れる中で、司会に毎日放送の太田兼三郎OBを配し、祝賀のコモ樽、縁起のマス、さては今里新地のキレイドコロまで友情？出演とあって、華やいだオープニング。

中橋紀司世話人が経過を報告。

「昨年九月の第一回世話人会発足いらい、月二回の集会を続け人が手分けしてローラー作戦を取り、判明校友百八十人の八割強に当たる百五十人の校友から、支部入会の賛同をえた」

と結成の苦労を語った。

議長を選んで支部会則案を承認したあと、役員選出に入った。新支部長には、発起人代表の松井潤次氏（昭28学一新・松井倉庫社長）を選んだ。このほか副支部長に三人、監査、幹事長に各一人、顧問に府、市議ら十八人、幹事は校区別に二十一人。計四十五人となった。多数の参加で推進する"若い組織"らしい役員構成となった。

当日は本部から樫本会長、畑下組織部長、渡辺組織部員（鶴見担当）らが出席しお祝いを述べた。

祝賀パーティーは長田義一市議の発声で乾杯、吹奏楽部の舞台演奏、今里新地の芸者衆の地唄舞など硬軟とり混ぜての催しが続き、坪井一宇府議の音頭で門出の万歳を三唱した。

支部長の他の役員は次の通り。

◇副支部長　松島浩（昭30学一経・尼崎浪速信用金庫本店理事）▽太田一男（新任・昭24大法・小田南中学校長）

◇幹事長　徳山喜昭（昭29学一商富士金属プレス工業代表取締役）▽池上勝（昭37工金・日本スピンドル）▽河本亨（昭34学二新・尼崎市役所下水課）

栄進校友を囲み二四六会が総会

毎年二月に総会を開いている二四六会（昭24学一法・26大の同期会）では、ことしも二月十四日午後六時から、大阪市立の校官職員会館で同窓会歓の集いをもった。

今回は愛知県立大学事務局長に栄進した滝　哲生君と、朝日火災海上保険近畿営業本部長に栄転してきた長野直孝君の栄転祝いを兼て行った。両君を囲み十六人が"思い出酒"をくみかわした（森正十之記）。

新支部長に柳楽氏

尼崎支部で第41回総会

尼崎支部は二月二十七日午後六時から、杭瀬の国際飯店で第四十一回総会を開き、八十余人の校友が参加した。

「新しい皮袋に新しい酒を」との呼びかけが実り、出席者の三分の二が初参加者だったという。八〇年代の幕開けを飾る活気のある総会となった。

徳山喜昭幹事長の司会で、弓場井幸太郎支部長の開会のことば、川井潤男副支部長の挨拶のあいさつがあって、議題の役員改選に入った。新しい支部長に柳楽（なぎら）喜祐氏（昭19専二法・共栄電器工業社長・法人評議員）を選び、川井・前支部長のほか校友富士金属プレス工業代表取締役）

◇副幹事長　松本慎之（昭30学一商・松本産業）▽竹瀬幸紀（昭38学一哲・泉商事）

◇幹事兼会計　溝江譲（昭31学一経・浜本工機）

◇幹事　浅野清（大14関甲・元尼崎市助役）▽中塚薫（昭6大政・元尼崎市収入役）▽植村英一（臨16専二法・元尼崎市助役）▽藤井豊（昭11専二商・株木建設）▽澤田嘉貞（昭32院博法・関西大学法学部教授）▽上村藤一郎（昭20専一経・尼崎市嘱託）▽北川治（昭14専二経・三功印刷）▽四本正史（昭28学二法・関西電力）▽荒木壮治（昭34学一商・荒木木材）▽村山弘（昭30学一政関西大学第二学生課長）▽池上姓牧）も関大スピリットでよくやっている。その嫁の香さん（旧姓牧）も関大・法科。母校の言葉で話せます」と総一郎社長（昭24専一経）は、満悦。そのもの関大生。気さくな感じ。自分で失敗して勉強せよ、そういうんでしょうね、全く干渉しません」と和彦さんの対話もさわやかだ。

◇「主人がレスリング部の主将のとき私がマネジャー」という香夫人。結婚式の当日、義父が、その友人と肩を組んで学歌の大合唱。その瞬間から、再び母校に帰ってきたようで幸せです」と。

◇在学中に二年間、英国に留学し、英語、服装を学んだ和彦専務の明日は明るい。早く孫子さんを！そのとき総一郎社長のほおは、さらにゆるむだろう。

親からひと言　子からふた言

◇「大阪青年会議所で父子二代の加入というのは三組だけ…。和彦（昭和53学一法・片野洋服店専務）も関大スピリットでよくやっている。その嫁の香さん（旧姓牧）も関大・法科。母校の言葉で話せます」と総一郎社長（昭24専一経）は、満悦。そのもの関大生。気さくな感じ。自分で失敗して勉強せよ、そういうんでしょうね、全く干渉しません」と和彦さんの対話もさわやかだ。

◇「主人がレスリング部の主将のとき私がマネジャー」という香夫人。結婚式の当日、義父が、その友人と肩を組んで学歌の大合唱。その瞬間から、再び母校に帰ってきたようで幸せです」と。

◇在学中に二年間、英国に留学し、英語、服装を学んだ和彦専務の明日は明るい。早く孫子さんを！そのとき総一郎社長のほおは、さらにゆるむだろう。

めおとぜんざい

校友夫婦善哉

◇校友会事務局によってこられた商学部の酒井文雄教授。「この二人の校友会費は……完納ですか。安心しました。祝電をお願いしますョ。三月二十三日に仲人を頼まれましてネ」と。

◇同教授の昨年度ゼミの同級生だという。新郎・小阪川広行君の卒論は「引当金について」。新婦・車雅朱子さんのは「棚卸資産評価と低価主義」。

◇成績はちょっぴり新郎の方がよかったとか。ともにスカッシュの同好会にも所属されていた。学園歌がご趣味の酒井教授は、はやくもの"逍遥歌"を口ずさむ。

☆**事務局からお願い**。最近、校友同士のご縁組が多いそうです。お知らせ下さい。祝電も打たせていただきますし、"関大家庭"も聞かせてほしいものです。

特許　排水管専用・各種清掃用品
クリンナップボーイ
つまった時にはこれが一番！
スムーズな流れで
快適なライフワークを…
家庭用から業務用まで
東京都優良商品選定品　東京日用品工業会
No.600-A
業務用パイプクリーナー
アイデアを製品化し、文化生活に貢献する企業
太陽プレス工業株式会社（清掃用品事業部）
（本社）大阪市東成区深江南1丁目5番8号TEL（06）975-0131㈹

制禦盤配電盤製作・計装工事
共栄電器工業株式会社
取締役社長　柳楽喜祐
本社　〒660　尼崎市杭瀬北新町1丁目3番地
電話　大阪（481）8807～0番（代表）・（489）3041番
東京営業所　〒176　東京都練馬区早宮2丁目26番25号
電話　東京（932）6266～7番

〈営業品目〉
亜鉛華・亜鉛末
硅酸ジルコニウム
窯業用原料・酸化チタン
ホワイトカーボン
その他工業薬品
白水化学工業株式会社
本社　大阪市大淀区豊崎3丁目9番7号
電話（06）373－0231（代）
事業所　東京支店・大阪営業所
名古屋営業所・河内工場
白水グループ
京神倉庫株式会社　九州白水株式会社
ヘンケル白水株式会社　中部粉体工業株式会社
曹水化成株式会社　京神運送株式会社
白水興産株式会社　株式会社ジユエルハイム
五洋商事株式会社　日本シリカ工業株式会社
アイアンドエフ・ビルディング株式会社

個人旅行→チャーター便←団体旅行
格安航空券　海外旅行　格安パックツアー
東南アジア・アメリカ・ヨーロッパ・アフリカ・南米
●社員旅行　●代理店招待　●観光旅行　●商用・業務　●研修旅行　●視察旅行　●ゴルフツアー　●留学　●学会出席
運輸大臣登録一般旅行代理業2585号　お気軽にお問合せ下さい
㈱ジェット・トラベル・サービス
代表取締役　石橋一晄
大阪市北区西天満6－1－17
TEL（06）365－5234㈹
昭36英文科卒（海外営業所）
ハワイ・ロス・台北・マニラ・バンコック・シンガポール・パリ・ロンドン

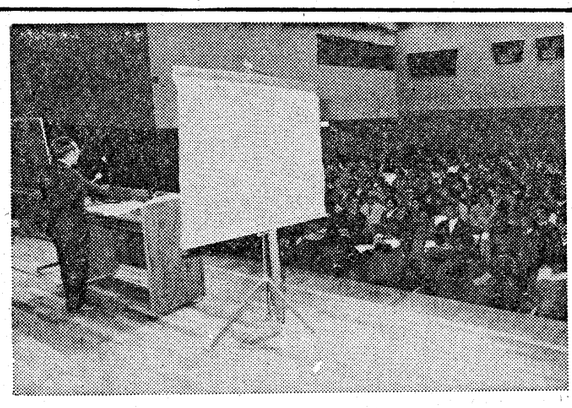
国のまほろばで開かれた大学

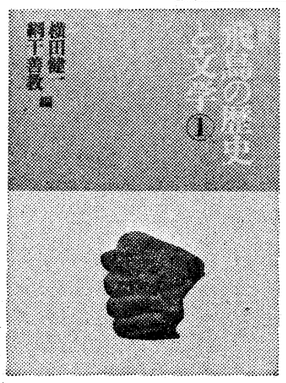
飛鳥 史学 文学 講座が六年目へ

天平の甍（いらか）、額田女王（ぬかたのおおきみ）と映画にテレビに、このところ古代のロマンが繰り広げられているが、登場人物の服装に、なにかお気づきになりませんか！ 関西大学が〝庶民に開く〟飛鳥史学文学講座の受講者が、五十三年秋に、高松塚壁画人物像を〝衣服再現〟した姿と、そっくりでした。上衣は丹後紬（つむぎ）、裳（も）は西陣織で、縞（しま）を朱子（しゅす）地で織り出したたたずまい。それは高松塚第一発見者の網干善教（考古学）、服装論を最初に発表した有坂隆道（古代史）、および壁画成の権威・山田幸一（建築史）の各本学教授の鋭い示唆と適切な指導で生まれたものでした。庶民を国のまほろばに誘う本講座はますます好評で、この四月から、開講当初は予測もしていなかった第六回目に入る。北海道から九州までにおよぶ受講者の定着を考えるとき、それは〝国民講座〟になったといえよう―。

この講座は五十年四月から奈良県明日香村中央公民館で開かれてきた。大学の入試がある二月を除いた毎月の第一日曜日午後一時から、飛鳥を中心とする日本の古代史、古代文学を中心に学問上の話を関大の教授が二時間余にわたって講演した。回を重ねるにつれて、学際的研究に進み、文学部にとどまらず法学部、工学部など全学部の教授陣が、研究成果を〝庶民に開く〟講座へと成育してきた。

この企画は、四十七年の春、関大生が高松塚壁画古墳の発掘にあたったことからはじまる。学生が一か月以上も民宿などの不便をしのびながら精進する姿に、当時の関西大学教育後援会長の植田正路氏が、セミナーハウスの建設費寄付を申し出られた。巨額の浄財で、明日香村南端の稲淵の地に、合宿所を兼ねた飛鳥文化研究所が設立された。


飛鳥講座でシルクロードの旅を語る網干教授



表紙のカットは川原寺裏山遺跡出土の塑像部分

帰国の日に第五回の最終講
網干教授の熱意

第五回（昭和五十四年度）飛鳥史学文学講座の最終講は三月九日午後一時から、明日香村中央公民館で開かれた。

この日の講師、網干善教・教授は、この朝、シルクロード二週間の旅から帰国されたばかり。演題の「飛鳥における火葬墓」に入る前に、旅行の印象記を話しされた。

「シルクロードの北路といわれる天山山脈のふもとのウルムチから、みなさんが孫悟空でご存じの火焔山の下、トルファンを訪ねてきた。壁画で有名なアスターナ古墳を視察し、カメラにおさめてきた。なにしおう乾燥地帯なので保存は良好だった。現像して必ずみなさんにおみせする。

私は昨年は中国の東北地区を訪ね、猴石山遺跡をみた。七月には横田教授を団長に敦煌を探る。これらは文化の流れを、この目でたしかめ、学問を深めたいためだ」

あくまで実証を積み重ねて追究する〝足で学ぶ〟関大教授陣の真摯な姿に、三百人近い受講生は感銘深げであった。

前夜の大雨で、中国からの航空機の到着が遅れることがあっては、と、横田健一・教授が控えの〝代打〟として出席されていた。前夜は、学生指導のため飛鳥文化研究所で、ほとんど徹宵で学術書の輪読会をされたというのに。これらの熱意、心くばりが本講を継続させているといえよう。

こうした研究所を古都保存法や、風致地区条例の規制のきびしい明日香村に建設することは、いろんな困難があった。しかし村当局の方々や、稲淵の人びとの絶大な援助と協力で完成した。その報恩の一つとして講座が開講された。

諸教授の熟っぽい講義、わけても現地で開かれていることがうけて、受講者は増え続けた。会場を一歩出ると、いま聞いた橘寺が、岡寺が目の前にあり、大和三山が静かに空想をかきたててくれる。明日香巡りにきて、講座を知り、飛び込み受講の後、常連になられた年配の人もおられる。

学際的になるほど庶民の関心は高まった。専門的な究明よりも、幅広い総合的なものの見方こそ、大衆の英知でもある。網干教授が地元の出身で、毎回、司会をされる成果もみのがせない。ときどきの新聞紙上に現われた〝古代ロマン〟に対する適宜の解説は、受講者の待望のものとなっている。

第五回を終わって受講者は北海道、東京から、西は九州にまでおよんでいる。〝アスキチ（飛鳥気違い）〟と自称される人も多い。いまや受講者は、同窓会的ふん囲気までかもし出しており、欠席でもすれば受講生の間で、「からだが悪いのか」と問い合わせの手紙が、届けられるという。年配のご婦人も多い。近鉄「岡寺駅」から坂道を、いそいそと登ってこられる姿が印象的である。

四月からの五十五年度第六回講座は関西大学飛鳥文化研究所と明日香村中央公民館の主催、後援に明日香村文化協会と関西大学千寿会。「二月のお休みが残念」という受講生の声をくんで、今回から二月も開講――ただし大学入試のため、この月だけは第二日曜日にすることになり、十二講となる。

第三回までの講座内容は創元社から「飛鳥を考える」と題し三巻刊行した。第四回講座からは関西大学教育後援会員のOBで組織する関西大学千寿会が発行者となって隠々堂から出版される。三月九日、「講座 飛鳥の歴史と文学①」として第一巻が出た。A5判・二九八㌻・定価二千円。さきに隠々堂から出版され好評の網干教授の著書、「飛鳥の遺蹟」＝A5判・定価二千円＝も、五月に増版される。

第六回の講師とテーマ

第六回講座の講師と、そのテーマの概要は次の通り。

◇第一講 55年4月6日
横田 健一・文学部教授
天平の采女（うねめ）
〈伊勢の豪族出の飯高宿禰諸高（いいたかのすくね・もろたか）が采女としては、稀な従三位の高位にまで昇ったナゾを解く〉

◇第二講 5月4日
青木 晃・文学部教授
大和の中世合戦譚
〈力重衡（たいらの・しげひら）の南都攻め〝平家物語〟と高師直（こうの・もろのう）の吉野攻め〝大平記〟を中心に〉

◇第三講 6月1日
有坂 隆道・文学部教授
山片蟠桃の古代史観
〈二百年前の大阪の町人学者・山片蟠桃（やまがた・ばんとう）の合理的な古代史観をとらえる〉

◇第四講 7月6日
神畑 忍・文学部教授
持統帝以後の吉野
〈持統帝の譲位後、はやくも出てきた〝壬申の吉野〟の意義を希薄化する動向について詳述する〉

◇第五講 8月3日
山岡 泰造・文学部教授
仏像の歴史と飛鳥
〈飛鳥に現存する、あるいはかつてあった仏像について、その彫刻史的意義を説明する〉

◇第六講 9月7日
薗田 香融・文学部教授
樂道天皇と八嶋陵
〈補継の変の犠牲者となった草良（さわら）親王の生涯と、その数奇な運命を辿り、わが国〝怨霊〟の第一号を解明する〉

◇第七講 10月5日
山田 幸一・工学部教授
大和の古寺と土塀
〈大和の仏寺の甍と壁を世界のものと比較しながら、日本人の伝統的な住感覚と美意識を探る〉

◇第八講 11月2日
大庭 脩・文学部教授
やきものの東西交流
〈シルクロードから運ばれて飛鳥へ来たやきものや、西洋における東洋のやきものを、私のスライドでお目にかけよう〉

◇第九講 12月7日
奥村 郁三・法学部教授
〝くがたち〟について
〈〝くがたち〟とは一体何か？その本質の糾明と、それがわれわれに教えるものを考察する〉

◇第十講 56年1月11日
竹内 良知・文学部教授
和辻哲郎と「古寺巡礼」
〈「古寺巡礼」の中にみられる飛鳥白鳳文化の研究が、和辻哲郎の倫理思想の形成にどのような意味をもっていたかを考えたい〉

◇第十一講 2月8日
上井 久義・文学部教授
古代における親族の呼称
〈古代において兄弟姉妹など親族を何と呼んだか？また呼称の体系に親族組織のあり方をとらえる手がかりを求めてみたい〉

◇第十二講・3月1日
網干 善教・文学部教授
飛鳥の石造遺物
〈飛鳥地方にはいつ、何のためにつくられたかわからない石造遺物がある。これをどのように理解するか！ そのまえに実態を〉

―◇―◇―

受講の**申し込み**は、申し込み用紙にテキスト代**二千円**（年額）を添えて、〒564大阪府吹田市山手町三の三の三五 関西大学教育後援会内 飛鳥史学文学講座係へ。

会場・明日村中央公民館の会場の都合から、定員を超えた場合は申し込み先着順となっている。

問い合わせは電話〇六―388―一一二一（代）の内線二〇〇番まで。

横田 健一 教授

山田 幸一 教授

大庭 脩 教授

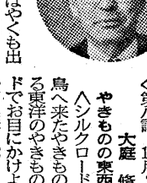
青木 晃 教授

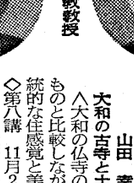
奥村 郁三 教授

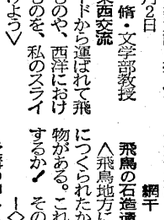
有坂 隆道 教授

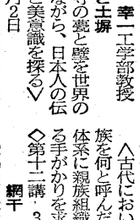
竹内 良知 教授

神畑 忍 教授


上井 久義 教授


山岡 泰造 教授


網干 善教 教授


薗田 香融 教授

お時間拝借
校友あれこれ対談〈88〉

弁護士 **木村 楢太郎氏**

聞き手 吉田 三七雄

法曹生活五十三年
尽きない思い出ばなし

木村 楢太郎氏

吉田 昨年の暮れに出版されました「法曹生活五十年寸秒」を拝読しましたが、ひと口に五十年といっても、大変なものですねえ。ほんとにご苦労さまでした。

木村 いやあ、まことに恥ずかしいものがお目にとまって恐縮です。私もこの二月で八十一歳になりました。年月の経つのは、ほんとに早いものですねえ。実は、昭和五十二年が私の弁護士生活五十年になり、日本弁護士連合会から表彰されましたので、それを機会に古い写真をまとめ、思い出を書き残しておこうと思うんですが、なかなか筆が進まず、それに仕事や雑用に追われてとうとう年を越し、五十三年になって改めて書き出したところ、こんどは家内が病気で入院して、ついに五十四年になってしまったんです。今日までも、本の出来上がりを見ずに八月二十二日にこの世を去ってしまいました。

吉田 ほんとにご愁傷さまです。

木村 有り難うございます。

吉田 そうしますと、本当は今年で弁護士生活五十三年ということになるわけですね。

木村 そうなりますなあ。

吉田 弁護士は、関西大学を出られて、すぐおなりになったんですか？

木村 いいえ、関西大学法律科を大正十二年に出たんですが、司法試験を受けるために、さらに明治大学高等専攻科で勉強して、ここを修了した翌年、つまり大正十五年の暮れに司法弁護士の試験に合格したんです。そして、その翌年の昭和二年の一月に、大阪弁護士会に入会させてもらいました。大阪弁護士会では、裁判官になった色川幸太郎さんと同期です。いまは関西大学の顧問をしていられる大月 伸先生は、関大でも弁護士会でも大先輩になるわけです。

吉田 長い弁護士生活の中には、いろんな事件があったでしょうねえ。そのうちの一つ二つをお聞かせ願えませんか。

木村 私は、主として民事・商事を扱ってきたんですが、そりゃいろいろ、不在者の財産管理をする人の選任申請を裁判所へ出したんです。裁判所は、私を財産管理人に選任したので、早速財産を調べたところ、銀行預金はウンとあるし、動産類は蔵の中にギッシリ。それに貴金属もたくさんあったし、河内には大きな立派な別荘もあったんです。申立人の代理人である弁護士とも話し合いに尽力して、結局失踪宣言するまでに八年かかって無事に解決し、財産全部の引き渡しを完了して任務を終わったんですが、先方の弁護士から私に、報酬として河内の別荘をもらってくれという話がきたんです。しかし考えてみると、その別荘の管理のために、女中さんをふたりも置いてあることが分かったので、この話は断りました。

吉田 断られたんですか。惜しいことをなさいましたねえ。（笑）

木村 欲も無かったんです。（笑い）だいいち、別荘の管理をするお金が無いしねえ。（笑い）欲が無いといえば、終戦後間もなくのことですが、お茶の商売をしている親族間でいざこざがあって、これを解決したんです。すると、そのお礼に、戦災で焼けてしまった道頓堀の空地をあげるというのが、今回の発想。

関大の知性を現わす「紺」、情熱の「赤」、誠実の「白」の三色旗を製作中。丈一㍍、幅三㍍。赤地に黄金色で「KANSAI・UNIVERSITY」を浮き出す横断幕も近くできてくる。

吉田 昨年の暮れに出版されましたまで間違いもなくやってこられたのも、五十二年間連れ添ってきた家内のお蔭ですし、その感謝の気持ちもあったんですが、その家内も、本の出来上がりを見ずに八月二十二日にこの世を去ってしまいました。

木村 そうなりますなあ。

吉田 弁護士は、関西大学を出られて、すぐおなりになったんですか？

木村 いいえ、関西大学法律科を大正十二年に出たんですが、司法試験を受けるために、さらに明治大学高等専攻科で勉強して、ここを修了した翌年、つまり大正十五年の暮れに司法弁護士の試験に合格したんです。そして、その翌年の昭和二年の一月に、大阪弁護士会に入会させてもらいました。大阪弁護士会では、裁判官になった色川幸太郎さんと同期です。いまは関西大学の顧問をしていられる大月 伸先生は、関大でも弁護士会でも大先輩になるわけです。

吉田 長い弁護士生活の中には、いろんな事件があったでしょうねえ。そのうちの一つ二つをお聞かせ願えませんか。

木村 私は、主として民事・商事を扱ってきたんですが、そりゃいろいろ、不在者の財産管理をする人の選任申請を裁判所へ出したんです。裁判所は、私を財産管理人に選任したので、早速財産を調べたところ、銀行預金はウンとあるし、動産類は蔵の中にギッシリ。それに貴金属もたくさんあったし、河内には大きな立派な別荘もあったんです。申立人の代理人である弁護士とも話し合いに尽力して、結局失踪宣言するまでに八年かかって無事に解決し、財産全部の引き渡しを完了して任務を終わったんですが、先方の弁護士から私に、報酬として河内の別荘をもらってくれという話がきたんです。しかし考えてみると、その別荘の管理のために、女中さんをふたりも置いてあることが分かったので、この話は断りました。

吉田 断られたんですか。惜しいことをなさいましたねえ。（笑）

木村 欲も無かったんです。（笑い）だいいち、別荘の管理をするお金が無いしねえ。（笑い）欲が無いといえば、終戦後間もなくのことですが、お茶の商売をしている親族間でいざこざがあって、これを解決したんです。すると、そのお礼に、戦災で焼けてしまった道頓堀の空地をあげるというのが、今回の発想。

関大の知性を現わす「紺」、情熱の「赤」、誠実の「白」の三色旗を製作中。丈一㍍、幅三㍍。赤地に黄金色で「KANSAI・UNIVERSITY」を浮き出す横断幕も近くできてくる。

近鉄花園駅 惨事の教訓

木村 あの時、私は会社側の弁護に当たったんですが、生駒駅を発車すると長いトンネルで、トンネル内は相当勾配が急で、運転士は普通制動から非常制動をかけたが及ばなかったといい、学者の先生たちがいろいろ研究したところによると、非常制動をすぐにかけると、停車することがあり得る、という意見なんです。しかし、もうひとつ確実な証拠をつかむことができなかったようで、結局責任は運転士の制動措置の誤りということで検事が起訴。求刑は禁固二年、判決は禁固一年という有罪の裁判でした。原因がもうひとつハッキリしなかったが、これだけの多数の死傷者を出していて、運転士が助かったということでは、世間が許さんだろうということでこの判決が出たわけですが、世間の常識的な見方、道義的社会的責任の重大さを考えた結果だと思います。今の物価からはちょっと考えられませんが、その当時、死亡した人の遺族に対する慰謝料は、たしか一人に十万円だったと聞いています。私は今でも、この事故で亡くなられた多くの方たちの、ご冥福を祈り続けています。

吉田 ほんとにお忙しい時間をお割きいただいて有り難うございました。いつまでもお元気で、世のため人のために、ご活躍をお続けになって下さい。

木村楢太郎（きむら・ならたろう）弁護士。近畿弁護士連合会理事。大正12年専法卒。

ごきげんさん

旗も服装も整っていないが意気だけ高いフラッグ隊

長い社名で小さな組織
林 則男（昭28学一商）

わが社・日産大阪タクシーキャブ販売㈱のPRをちょっと。

自動車関大会のメンバーで、最も多い自動車ディーラーの中でも一番長ったらしい社名と、一番小規模の人員、組織で（もっとも、売上高・販売台数・生産効率等では、あまり小規模の方ではないと自負していますが）、まことにユニークな会社ではないかと考えております。一般ユーザーを対象とせず、ハイヤー・タクシー・自動車学校を顧客として、日産車全車種を販売している全国で唯一の特殊なディーラーです。

昭和四十六年に十八人のメンバーで発足して八年余、六十五人のスタッフとなりました。五十二年六月、はからずも自動車関大会の池尾泰治・副会長（昭13専一法）が、当初の代表取締役社長に就任され、改めて自動車関大会との因縁の深さを感じております。現在校友は四人。社長と小生を除く二人も、それぞれ部長と部長補佐として経営の一翼をになっており、何故このような環境の職場に後輩が続いてこないのか？ 愚痴っている現状です（同社常務取締役・〒663西宮市二見町一二の一〇。会報・自動車関大会創刊号から）。

支部の総会で先輩の知遇を
鈴木 幸夫（昭54学一経）

昨春卒業後、直ちに名鉄に入社してから車掌や駅務、観光バスの添乗などの〝教育実習〟を終え、近く関連会社に出向する予定。

愛知支部総会のご案内をいただき出席させていただいた。総会行事が正確に運営され、パーティーも楽しく、多くの先輩同窓に知遇を得るとてもよい機会だったと思いました。次の総会には同期生で同じ名鉄に入った青山剛士君も誘って出席したい。

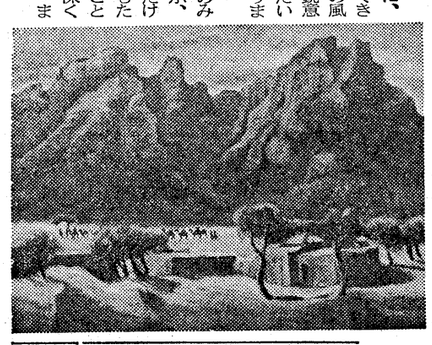
在学中クラブ活動の〝能楽部〟で、ご指導いただいた大西昭男先生が学長になられた。ご健勝をお祈りします（〒442 02岡崎市大門三の三の九）。

松山の皆さんのご歓談を
松井 繁

このたび松山市小野町乙二六の一、松山東ゴルフ倶楽部内に、私の作品常設ギャラリーを設けていただきました。

これを機会に、永年心に温めてきました瀬戸内の風物を画題に、鋭意制作していきたいと覚悟しております。

松山の校友のみなさんのご教示、ご歓談をいただける機会が多くもたせていただくことを同家貴利と深く感謝しております。



女子フラッグ隊 応援団に華やかに登場

応援団に女子フラッグ隊が誕生し、三月二十五日の卒業式から、オレンジのミニで、さっそうと登場する。

応援団に女子バトンが生まれたのは三十五年ごろ。関西の大学では初の登場であったが数年で、後輩の部員が続かず消滅した。幾度も再建が図られたが実らず、他女子短大からの友情応援で凌ぐ。

一方、応援団吹奏楽部は四十三人のうち女子部員は十人近く、クラリネット、フルート、オーボエなどを担当している。これらの楽器はマーチングの場合は休みとなる。その場合に〝フラッグ隊〟をというのが、今回の発想。

応援団の女子バトンが生まれたのは三十五年ごろ。関西の大学では初の登場であったが数年で、後輩の部員が続かず消滅した。幾度も再建が図られたが実らず、他女子短大からの友情応援で凌ぐ。

「曲馬団哀歌（サーカスエレージ）」脱稿
学園座初の東下り公演脚本

既報＝関西大学演劇研究部の学園座は、初の東下り公演にむけ準備しているが、岡部 和久 君（商二）のオリジナル・曲馬 団哀歌（サーカス・エレージ）もできあがり、近く本格的に稽古に入る。

今夏「'80キャラバン公演」と銘打って各地でテント公演を行う。

◇六月十六～十九日 関大公演
◇六月二十八～二十九日 京都公演（京大西部講堂）
◇七月六日 大阪公演（天王寺野音）
◇七月十二～十三日 名古屋公演（日川公園）
◇七月十九～二十日 東京公演（東洋大学内）

空中ブランコなどの装置も大仕掛け、舞台衣装も華やかだけに公演金経費は三百万円はかかる。

原因はタダ一つ。食物が人間行動のエネルギー源だが、座員学生三十八人は、昨秋からアルバイトで、資金の積み立てをはかり約半額は確保した。年末年始のチンドン屋バイトの成功がある。天六や吹田商店街に「すべて新しく、すべてが創造的！ チンドン屋が帰ってきた」と企画、衣装、小道具すべて自前での売り込み作戦。校友の商店会長に過分のご援助をいただいたという。

「現在の資金で、男子座員だけなら野宿でキャラバンを実行できますが、女子座員もおり、また稽古に入るので、バイトにさく時間がなくて…」校友諸先輩の温かい支援を待望している。

国税秀麗会も30周年記念を
宮崎 一也（昭42学一法）

全国の国税関係に携わっておられる校友のみなさん、お元気ですか！

大阪国税局管内の校友で結成する「大阪国税秀麗会」は、創立三十周年を迎えます。五月三十一日（土）、大阪市北区のマンダリンバレスで一大記念総会を開催します。――当初予定の六月七日、新阪急ホテルを都合で変更。

会員はもとより、税界OBの参加を期待しています。大いに飲み、語り、歌って〝大福引〟を当てましょう。（大阪国税局総務課総務第一係長・〒532大阪市淀川区三国本町一の一五の四の七〇九）。

校友会の支部総会に出してもらいました。四十数名の集まりで、母校の学長も参加されており、いっしょに写真を撮った感激は、いまも忘れません。

ひとつ提案があります。若い校友だけの会合をつくってはどうでしょうか。支部総会に卒業数年といった若い姿が少なかったので。こんな企画も案外と、新しい校友会の活力として意味があるかもしれませんよ（〒509 01各務原市那加西野町一五〇）。

健康手帳

◆腹の汗

ウサギが カメに勝つのが普通だが、そうでないことも方国の戒めに共通。ちょっと一服の随意筋を動かさないでいると、取り返しのつかないことになる。

大相撲の親方衆の日々、昨今の新弟子は「腹に汗が入っている」そうだ。いわゆる肥満症正のため に、その〝汗〟を出しきる作業から始めなければならないという。おきまりに体力も伴っていない。

よく聞く話だが、食糧事情も倍旧の好転、青少年の体格も然り、なのに今の若者は弱い、は善間の定説だ。

原因はタダ一つ。食物が人間行動のエネルギー源だが、その消費方法に問題がある。生命保持の必要最小限の消費エネルギーを基礎代謝という。活力あふれる生活には、それ以外に作業代謝が不可欠。そのために栄養源を詰め込む。

さて、ここで随意筋を動かさないと、摂取熱量と需要熱量のバランスが崩れ、「腹に汗がたまった」りする。

変化に富んだ生活現象の基調は随意筋の意図的作動にある。いま小学校で、〝ゆとりの時間〟が模索されている。野を駆けるウサギ、刻苦勉励のカメたることを、どうやら再評価すべきときに至った。

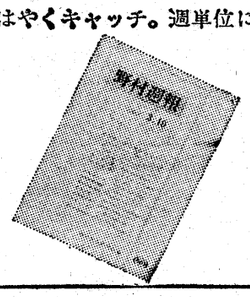
（文学部体育学教室 助教授 伴 義孝）

おそばのおいしいお店、家族亭へお立ち寄り下さいませ
信州そば 家族亭
大阪店 阪急三番街/ウメダ地下センター/阪急32番街/梅田新道/難波戎橋筋/ミナミ地下センター/南OSプラザ地下鉄住之江終点/阪急川西能勢口駅前/府道茨木警察署北/カツヤキ松坂屋
東京店 有楽町/日比谷/渋谷/蒲田/池袋/新宿
千葉店 千葉セントラルプラザ/イトーヨーカドー津田沼店
札幌店 丸井今井本店
仙台店 仙台ジャスコシティー
浜松店 松家
博多店 西鉄天神コア

カタノヨイ カタノコラヌ カタノクズレヌ カタノ洋服店
世界の紳士が選ぶ オルメデックス・シルクコート
片野洋服店
大阪市東区北浜三丁目北浜通 電話大阪(231)〇五六五―七
大阪駅前店 第一生命ビルファースト・アレイ 電話大阪(341)〇七九二
近鉄百貨店特撰紳士服 上本町店・枚方店・奈良店

運転免許は校友がお世話する
〝大阪鶴見の〟公安委員会指定
都島自動車教習所
大阪市鶴見区緑3丁目2―13
〒538 TEL(06)912―7171
担当 太田清太郎(昭29.学2法)
優待証 関大
校友、在学生、又は校友紹介の方は左の優待証を切り取り持参下さい。授業料割引きの特典あり。

調査の野村

調査の野村がお届けする最新情報です。内外の経済ニュース・産業界展望・注目会社の近況など…いちはやくキャッチ。週単位にまとめてやさしく解説してあります。投資にビジネスにお役立てください。

●編集＝野村総合研究所／B5判16頁
●発行日＝毎週月曜日
●年間購読料＝2,000円（送料共）
経済・産業・株式の動きをわかりやすくまとめた
野村週報
主な内容
焦点・国内産業・国内企業研究・国内市場動向・海外企業研究・海外産業・海外市場動向・投資コーナーなど
お申込み・お問合せは
野村證券
大阪支店：大阪市東区北浜2―26 ☎(06)201―1281
本店：東京都中央区日本橋1-9-8 ☎(03)211―1811

濱本工運株式会社
濱本工機株式会社
取締役社長 濱本正吉（昭和14年大法卒）
本社・兵庫県尼崎市西本町3丁目1番地
電話大阪412―2161―3
鋼管支社 尼崎市東高須町1 電話大阪413―2181
神崎営業所 尼崎市扶桑町2―1 電話大阪401―4975
南浜営業所 尼崎市東海岸町 電話大阪409―1641
滋賀営業所 滋賀県甲賀郡甲西町正福寺榎15 電話07487―2―1901～2

関大・新世紀に生きる

気鋭の助教授紹介シリーズ —②—

関大百周年は指呼の間と、かけ声は勇ましいが、法人に、学部に、校友会にはたしてどんな構想があるというのだろうか。いま黙々として研究室にこもっておられる三十代半ばの助教授が、その学説を世に問われるのは、まさしく〝関大百年〟の後である。今回は伝統のある法学部の新星として〝学の実化（じつけ）〟を祈念される永田真三郎先生と、故矢口門下の俊英として、未開拓分野といわれるカナダ経済史にアタックされる加勢田　博先生に登場を願う。

〝学の実化〟の実践へ

みんなで考え、語り、生み出す

永田真三郎助教授

〈実学・関大ですか！〉

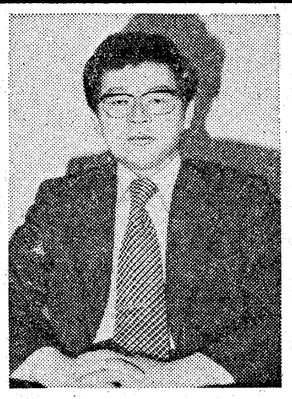
「学の実化ということは、安易手軽な学問の実用化ではないはず。〝ジッケ〟は仏教用語で仏が衆生を化導することだといいます。学問の本質、心を社会全体に広めていくことが肝心でしょう」

言葉だけを活字で並べると、コワバッタ感じになるが、実際は温かな声と、人なつこいほほえみの、なごやかなお人柄である。

「関大で一番必要なことは、このキャンパスでみんなが考え、語り、なにかを生み出すことです。授業が終わるとサーッと帰える学生をみるとあまりにも味気ない」

本学研究室にもっとも長時間こもっておられるお一人である。

弁護士である真理夫人との間に理雄君（ゆうとゆきちゃん（二）。昭和十八年十月二十八日の生まれ。



永田真三郎助教授

司法試験に合格しておられる。

〈腕試し？　それとも法律実務家を夢みられて……〉

思わぬ答えが帰ってきた。

「京大のときの恩師は〝滝川事件〟を体験されていた。研究者として自分の主張を貫くためには、別の生活の道を持っていることも、と教えられて」

他人の意見には静かに耳を傾むけられる。反面、研究者としてスパッとした批判も口にされる。つねに法学研究の〝真剣勝負〟をしておられるとおみうけした。

専攻は債権法。私権の体系化に関心を持っておられる。コンピューターを使っての法律情報のシステム化も試みられた。

頭と肌で熟考する

新しい学の道の確立めざす

加勢田　博助教授

加勢田博助教授

話し好きの、人なつこい明るい研究者である。

専攻は北米経済史。その関連で、未知の分野だという「カナダ経済史」にアタックされている。

矢口孝次郎元学長の門下生であり、森川太郎元学長の経済研究会にも入っておられた。関大・経済の学風継承の〝本流〟だ。

「ご遺族の好意で、矢口先生の蔵書が図書館に納った。なによりも、イギリス初期の経済史十八世紀の文献が、体系的に集められていることだ。長年にわたり給料のほとんどを注ぎ込んでこられたのでしょうね」と。

加勢田先生は高野山麓の〝複式学級〟小学校の出身。「関大生のころ梅田の人混みを横断できなくて」と笑われる。が、それだけに、人が〝常識〟で見逃すことを、頭と肌で熟考される。人が回避する事象にも向かっていかれる。

「男女学生の服装がよく似てきた。考えてみると、小学校からずっと〝男女共学〟なんです。生活感覚が同じになり、男の文化も、女の文化に接近する……。」と分析せずにおられない。

「私立大学の授業料はどうあるべきか！」。学問的にも新しい道を確立しないと、学生にも、理事者にも申し訳ないともいわれた。お話しは、つぎつぎと、とどまるところをしらない。

お子さんは？　と問うと、「やっと去年の五月、遺縁にあたる娘を」。これだけはひとことだった。昭和十八年五月十三日生まれ。

故 木村健助先生の「無心の教え」

関西大学法学会誌の第二十五号が、三月十四日、刊行された。昨年十月十八日、八十五歳の天寿を全うされた木村健助・名誉教授追悼文集が掲載されている。桑原武夫・京大、丸山眞男・東大、山木戸克己・神戸大、植田重正・関大の各名誉教授ら、広く関西大学の内外において、木村先生のご生前、とくに親交のあった方たち五十余氏の玉稿が、二百二十六ページにわたって編集されている。

「無心の教え」と題した和田豊二・本学名誉教授の追悼文の一部を抜粋させていただき、恩師のご冥福を祈りたい。

「木村先生の突然の御逝去に限りない寂寞の感をいだきますと共に、積年の御教示に深く感謝致します。先生から御交誼を賜りましたのは、昭和の初めころと記憶しますので、先生の御遺徳を偲べば数限りもあります。ここでは私個人に対する御教示を別にして、一、二の思い出を静かに偲んで、御往世中の先生の御姿を眼に浮べてみたいと思います。

一つは先生が学長に推戴されたときのことであります。

経営者を始め教職員、学生から深く敬慕されておられた先生が、学長に御就任下さることを一同当然として期待しておりました。ところが先生は静かな御声で、しかも緊張した御様子は微塵もなく御辞退された。二選されても一選の場合と同じく辞退された。私は全くの個人的立場から御引き受け下さらぬかと御願いしてみたのでありましたが、御返事は否でありました。低声のため聞きとりにくいところもありましたが、御態度は毅然として否でありました。先生は法学部のこと、大学院のこと、役職の性質等総ての点を、全体的、総合的に把握し判断されての上の御決心に基づくものであろうかと。だとすると、これは普通人には克くなし得ることではありませんが。普通人を超越し脱俗しておられるのであります。先生の学長御辞退は正に常人超脱の実践でありましょう。

二つには、先生の現世との別離の往様についてであります。

先生と御別れのため御伺いしての奥様から承った御話の中に、遺言により、法名読経、通夜、告別式等の葬送儀式は一切行いませんと。このことは生前に幾度となく話し合ってありますので行わなくてよいのです。との御言葉がありました。

死の到来が必然である限り、死後の処置は当然に真剣に考えてあるべきが人生の本筋でしょう。死もまた人生の一部と考えるべきものだからです。家族の方々と話し合い、その納得の上に立って総体的に儀式を行わないと決定し実行することは、慣例にとらわれている常人の克くなし得るところではありますまい。祖先からの慣習や伝統に縛られて利己的または自我的に慣れている常人の生活を全体的総合的に把握し超脱することは本当に至難の業であり、正に無心の境地に到達した人のみが決断し得ることではないでしょうか。

一切の葬送儀式を行わないと決断された先生は、常に無心の境地におられた稀有の偉大な人生論の持ち主であられたのだと感激すると同時に、例の学長問題も、はっきりと理解されてまいりました。かくも立派な先生と御別れしたことが一段と淋しくもあり惜しくもあります」。

法学部のみなさんに囲まれてのありし日の木村先生（2列目右から3人目）その左が筆者（和田名誉教授）

和田名誉教授の追悼文より

創作キャンパス

関西大学頌

浪速古来文化津
丘陵千里万花新
王儒伝巻幾何歳
開学百年悠久春

白節

〈意訳詩〉

なにわは、いにしえより、文化の渡し場。

千里の丘には、よろずの花が、色も新たにこおう。

王仁博士が書巻を伝えて、いくとせになろうか。

大学は開かれて、迎える百年。

春、ととのわに……。

浪速、古来、文化の津。

丘陵、千里、万花新たなり。

王儒、巻を伝えて、幾何歳？。

開学百年、悠久の春。

飛鳥早春

横田　健一（文学部教授・文学博士）

春夜霧
山茶花の紅
隠したり。

あすか鍋
乳のかほりに
春を嗅（か）ぐ

紅梅の
花びら光り
明日春暮る

〈三月九日・第五回飛鳥史学文学講座の終講の日に〉

万緑

木村楢太郎（大13専法）

万緑に一筋の薫いつまでもこの訴状いかに取組む秋灯火

薪能火入れ終りし人の顔

東京の焼諸売に会いにけり

落葉ふむ僧の衣の真白かな

木村弁護士が出版された「法曹生活五十年寸秒」から抜粋させてもらった。今は亡き政子夫人の俳句も掲載されているので、その一つ二つを紹介させていただく。

金婚の年を迎へり福寿草

嫁の舞ふ仕舞に語ふ春の会

ほっほっと庇をたたく春の雨

合格や苞脱ぎ光る猫柳

退院の窓に明るき春日射す

大島鎌吉

スポーツの新長期計画を

〈下〉

国民健康体力つくり運動協会はさきに国民疾病に歯止めをかけなくては、と三つのアピールを出した。

一、体力つくりで軟弱と文明病を克服しよう二十一世紀国民体質の改善（一九七五）。付百年計画（センチュリー・プラン）。

二、こどもの体は、これで良いのか！体育・スポーツのすすめ（一九七六）。

三、求められる発想の転換（一九七七）。

だがオイルフレーションで新しい転換期に入ってしまった。

さきの三アピールを基調に「生き残り作戦」として、新戦術を展開しなくてはならない。

大まかな戦術の時代区分だが、とりあえず短期（八五年まで五年間）、中期に分けて策定するが、中期は短期五年後の様子を見て考えて良かろう。

短期問題の諸条件は

そこで短期五年の問題点は、将来の前提諸条件を整備することである。

一、政府の行政機構。

現在からだに関与する省庁は十三もある。人間扱いだけに問題が多岐にわたるが、これを放置すると、人間そのものが分断されてしまう。

機能化はスポーツ省、体育省ができればよいが、いまはとても、無理だし、こだわっていては時間切れになる。だから持ち分の守備範囲をフルに生かせることだ。文部省は学校体育。厚生、労働、農水、建設の各省は社会体育。経済企画、自治の両庁には一足のワラジを履かす。調整はいまの通り総理府に置いてよいが、これが〝強力な〟機関に改組すべきだ。

二、民間スポーツ団体。

日本体協と加盟団体は「エリート」だけにカッカせず、その予備軍・援軍の「みんな」に、少なくとも半々、五対五（いまは一対九）と座標を移す。線上にきた少数を掬い上げてのエリートつくり。あの非生産的不合理とキッパリ絶縁する決断が求められる。エリートの出る土壌に施肥する地味な努力は、相手は発育盛り。数年後に実を結ぶ。

三、三百もある社会教育団体。

国の大事業となると、バスを追っかけ、揉み手の補助金頼み。オリンピックの翌年できた「体力つくり国民会議」には、ドッと寄りたかった。

なぜ、この根性を捨て、自主精神で自分を運営できないのだろう？　会員だけでもよい。「体力つくり」を奨めるべきだ。

どうせ国や地方自治体の体育財源は雀の涙。体育官僚は、はじめからボランティアに期待していた。「安上がりガバメント」の模範生だったのだ。民間団体もここでコンピューターをハジき、この分を「貸しを返せ！」くらいのタンカを切ってよい。

とに角、五年の入り口で、条件整備するため、全力投球すべきだ。最初の三年をかけてよい。

後遺症を積み残した

以上は夜見た夢を忘れずに書きつづったもの。夢は正直。ウソをつかない。

だが朝起きてハッと気づいた。一番大切な問題を残してきたのだ。それが後遺症で、難題中の難題である。

要は精神的特異の風土が犯人。これが法律・制度から日常生活・習慣まで、何から何までも蚕食している。

これがいまのまま残ったら、救いが難い、変なことになる。だが思えば、明治革命が百年前に産み落したものだ。

さて、海外との交流は有史以来あって、ずっと続いたが、安政の動揺期から明治年にかけ、蘭学者と西欧文化の影響を強くうけた。だが十九世紀中頃。ペルリの黒船が浦賀に投錨し開港を迫ったとき、アッと驚いた。植民地化の危機を感じたからだ。為政者は「追いつけ！」「追いつけ！」政策を決意した。

立憲君主制を軸に、公武合体、国会開設、憲法の制定、廃藩置県、中央集権制、義務教育制の実施など貪欲に西欧をマネた。役人、教員の大増需要には、浪人失業群の採用で応えた。騒然と乱れた世相は、斬髪、廃刀でハイカラを奨め支配階級は食事もマナーも洋風に変えた。とに角、知識と技術の輸入が至上命令だった。

このとき、旧武士の支配下、倫理的に「竹ヤリ精神」と「人命は羽毛の軽さ」が引き継がれた。で

肉体の甚だしい軽視

いちど現実にもどってみると、経済企画庁が重大なミスを犯している。長期経済計画を立て、経済全般の運営の基本方針を策定する日本経済の心臓部、ここのコンピューターに労働者の健康・体力とその周辺価値を覚えさせていないことだ。景気の消長はハシキだしているが、その景気を左右するのは労働者の生活と生産性と力。この何よりも大切なファクターを落としての計画など、絵に書いたモチみたいなもの。毎度の計画の寿命がわずかに二年半なのも、理由のないことではない。肉体の甚だしい軽視が原因である。

省みると明治以前はそうでなかった。

人間の見方は「身心」で「身」が上位だった（道元）が、あのとき「心身」と「心」を上位にもってきた。哲学の相違だが、この「心身」がいまも、日常語で平気で使われている。

このさ細な事柄が重大な意味をもつことはいうまでもない。

——◇——◇——

虚弱と現代病の主犯は運動不足だが、最近スポーツで防げる病気リハビリで治る疾患などの研究が、世界的に急ピッチに進んだ。

まだまだ経済的バランスシートと新しい運動処方が発表されはじめた。これらは紙面の都合で別の機会に譲らなくてはならない。

（昭9大法、国民健康・体力つくり運動協会理門家会議長）

メイルボックス

徳田氏が高松弁護士会長に

校友会代議員の徳田信光弁護士（昭29学一法）が高松弁護士会長に選ばれた。任期は今年四月一日から一年間。名誉職といった感覚は昔のこと。高松の不十人近いサムライぞろいの会員のまとめ役はなかなかの二苦労と思われる。

就任を前に①過疎地域への巡回法律相談②交通事故紛争裁定センターの設置③法律扶助制度（訴訟費用の一時立て替えなど）の周知徹底―の〝実務三点〟を抱負にあげている。祈る・ご奮闘を！

20年ぶりの感慨　道産子の木村氏

「キャンパスも、校門前のただずまいも。そして駅まで変った。吹奏楽部のオンボロ部室だけが、むかしのまま」

株式会社キムラの木村勇市代表取締役（昭36学一商）は、応援団の徳山喜昭・総監督（昭29学一商）に感慨深げに語る。

木村さんは札幌に本拠を構える建築資材卸商の二代目。浪華の士性骨を求めて本学へ。在学中は応援団の副団長で吹奏楽部長。卒業後も二年間、大阪の問屋で丁稚奉公をした。現在は札幌に本店、函館、釧路、旭川に支店を開き、関連六社二百人の従業員を指揮する〝若き経営者〟だ。校友会、教育後援会の各総会、地方試験のときは、道内における〝関大の前進基地〟として協力されている。

新聞発行協力金協賛者芳名

十一件　五万五千円。

（二月十日から三月十日受付分）

▽総計　六千八百二件　三千四百三十一万二千円。

（ご芳名は54・10・10受付分まで）

大井達哉（昭53）
大本時瑞（昭52）岡野満（昭31）
岡本元伸（昭47）押井聡（昭52）
小川吉太郎（昭32）小川操（昭49）
小田純市（昭19）小野田昌之（昭35）
蒲牟田数樹（昭53）神田実（昭49）
木村哲司（昭47）岸本謙三（昭7）
久保田郎（昭42）串井武憲（昭45）
久野陽子（昭51）高橋敬（昭28）
田辺治（昭28）田中成人（昭37）
田渕敏治（昭54）丹後晴夫（昭48）
筒井政明（昭50）筑波亮治（昭34）
寺川喜隆（昭50）寺田徹（昭52）
飛越伸之（昭54）大橋修一（昭51）
西藤金二（昭46）城井信寿（昭53）
西和敏（昭45）西田吉和（昭47）
杉谷光男（昭54）杉村明彦（昭46）
半井和明（昭39）中村幸穂（昭54）
中村和郎（昭33）中田和正（昭49）
中尾房太郎（昭5）南則純二（昭51）
錦戸隆範（昭48）西山信一（昭44）
水田祐助（昭51）浜本志麿（昭38）
橋村順一（昭53）長谷文郎（昭40）
平田茂治（昭16）二見豊一（昭17）
福田章（昭50）藤井駿次（昭40）
古谷隆章（昭39）堀俊一（昭38）
宝山秀逸（昭50）前川太一（昭46）
丸山不二男（昭18）三宅弘一（昭49）
胸永悟（昭54）村井幹雄（昭47）
安田俊雄（昭52）矢野充彦（昭34）
山本賢三（昭19）山市毅（昭52）
山前新（昭47）山屋芳美（昭27）
横山英雄（昭54）吉井功児（昭27）
米田弘志（昭52）吉田剛治（昭19）
新寿彦（昭53）青島隆彦（昭53）
足立顕雄（昭51）

東重治（昭52）東貢（昭52）
青木律雄（昭39）赤木繁（昭48）
今西寛（昭50）荒井和範（昭48）
池中明一（昭25）阿尾隆雄（昭53）
井桁嘉範（昭44）伊藤信博（昭39）
井上和夫（昭45）伊藤邦子（昭52）
糸岡雅美（昭46）井上勉（昭28）
井料長敏（昭37）板本修（昭47）
石本聡（昭42）石田信男（昭45）
大倉昌実（昭53）植道都（昭46）
太田清太郎（昭29）岡田正典（昭40）
大川敏雄（昭17）大石博（昭48）
小川和男（昭50）岡本春樹（昭51）
大住祐起（昭50）小儀政幸（昭40）
川手良貢（昭41）瓦田正勝（昭42）
柏原勉（昭37）勝浦清二（昭25）
神田光子（昭44）鎌田好子（昭50）
甲斐田龍助（昭52）片岡三よ（昭52）
木下勇（昭46）川越智（昭6）
喜入幹博（昭49）木谷匡宏（昭54）
北川政雄（昭53）貴田通（昭49）
桑原正光（昭53）倉永悦雄（昭34）
小池君貴（昭48）工藤正義（昭34）
後藤康行（昭53）小林輝正（昭41）
坂井賢一（昭15）狭山享（昭54）
柴谷足良（昭54）坂部紘二（昭43）
柴田義行（昭54）島正典（昭52）
萱藤和美（昭50）神野修一（昭38）
高取昭徳（昭49）関誠一（昭43）
高見明（昭43）高橋恭（昭54）
谷原守（昭43）高田敬三（昭33）
田中陽（昭39）田辺勲（昭33）
田中昭蔵（昭28）

終身会費納入者芳名

（在学予納を除く。二月十一日から三月十日受付分）

一括納入（二万円）　三件　六万円

▽五十四年四月からの総計。

八十四件　百六十八万円。

青島成夫（昭52）小林民夫（昭37）
吉房康幸（昭33）

鍔本泰司（昭54）寺根一（昭54）
嶋本陽一郎（昭37）徳田周英（昭43）
中野善治（昭37）中嶋幸治（昭4）
中田和哉（昭53）西田直夫（昭54）
西田亨夫（昭54）西畑修一（昭53）
西川祐司（昭53）西山晴夫（昭49）
橋本真澄（昭49）馬場洋征（昭41）
長谷川市代（昭52）原邦通（昭52）
原井秀一（昭46）浜地南生（昭37）
播本喜昭（昭54）樋口誠良（昭37）
藤原信一（昭40）福光栄一（昭53）
藤岡司（昭45）布川哉子（昭54）
藤田憲明（昭54）古市仁（昭34）
福井久紘（昭41）樹本隆夫（昭53）
福井信昭（昭54）前原勝（昭36）
松井由紀夫（昭53）水越保治（昭49）
宮武紘幸（昭43）三谷昌紀（昭41）
宮崎修一（昭43）水谷芳博（昭53）
三宅幸司（昭51）水谷満幸（昭38）
宮川直敏（昭44）畝田祥（昭32）
村尾喜代志（昭40）向洋良（昭48）
村尾清一（昭51）宗近秀夫（昭53）
両角澄子（昭53）望月美宏（昭49）
森田清次（昭54）安井昭光（昭40）
安田一裕（昭47）安村元男（昭40）
柳原一善（昭48）柳田孝（昭47）
山田政利（昭41）山崎智子（昭52）
山元時義（昭12）山口岩美（昭44）
山村茂樹（昭43）山口鴛見（昭29）
寺本泰明（昭41）吉川和成（昭53）
山田英智（昭39）吉川雅信（昭53）
湯川泰行（昭50）阿野三郎（昭41）
相沢緑（昭44）青柳邦彦（昭49）
秋田正信（昭44）高田敬（昭48）
伊地知一郎（昭49）碇展雄（昭48）
稲葉康雄（昭54）石原謙二（昭53）
板垣良彦（昭51）井上卓（昭51）

辻正（昭42）
内田英子（昭46）大西司人（昭53）
大野安広（昭31）岡橋隆雄（昭13）
岡本義弘（昭49）大塚忍（昭54）
岡本孝雄（昭50）大西節子（昭54）
岡本隆一（昭53）大西勇人（昭54）
梶山忠彦（昭46）風井宏（昭50）
河野芳徳（昭53）稲菅茂（昭48）
木山一郎（昭9）北村尊一（昭7）
菊田正憲（昭46）久保寿（昭13）
二十五年間にわたって夫妻協力して心身障害児教育に尽され、早期発見、早期教育に成果をあげられた。

ご冥福を祈ります

藪内芳彦・文学部教授

三月十三日、心筋こうそくで亡くなられた。六十八歳。京大卒。和歌山大、金沢大、大阪市立大教授の後、昭和五十年から本学文学部教授。専門は漁業地理学。「漁村の生態―人文地理学的立場」で文学博士（旧制）。

ご遺族は〒596岸和田市小松里町一〇四五の一に、女婿の成泰氏。

祖父江藤郎氏（昭23大経・さつき㈱社長・校友会代議員）三月一日亡くなられた。五十五歳。

ご遺族は〒542大阪市南区順慶町四の四五、さつき㈱社長男一郎氏。

西岡　ちかさん（関大一高・一中・西岡　寰校長＝昭29院修国＝の母）一月十八日、八十歳の天寿を全うされました。

達摩　省吾氏（経済学部の達摩省一主任＝昭34学一商＝の父）二月十二日急性肺炎で、七十九歳。

大津利八郎氏（学生課の大津健造主任＝昭39学一経＝の父）二月二十八日老衰のため、七十七歳。

平原　アキさん（平原豊弘文学部教授＝昭27学一商＝の母）三月三日、八十五歳の天寿を全うされた。

阪本　虎造氏（阪本龍三・図書館運営課主任＝昭30院修法＝の父）三月七日心不全で、七十九歳。

中野　喬（昭45）
野口圭一（昭45）野口優（昭47）
原伸一郎（昭52）林嘉隆（昭54）
林秀樹（昭46）広田肇（昭46）
東山善行（昭45）平井康博（昭53）
東山利雄（昭26）福永秀幸（昭54）
福井信一（昭25）福田仁（昭46）
藤井健司（昭46）藤原慶太（昭54）
藤本勇男（昭31）藤川薫（昭48）
古市賢太郎（大14）丸尾年正（昭48）
万谷宗正（昭53）政井武（昭13）
政井学（昭35）松尾博行（昭46）
前川敏和（昭46）水池信吾（昭53）
宮田伸（昭53）宮地孝夫（昭46）
三木博志（昭47）村田章子（昭48）
村上圭子（昭54）森秀夫（昭47）
森内博（昭40）森本幸一（昭40）
森本良一（昭40）村田悟（昭47）
安泰弘（昭53）安井健次（昭48）
山口行之（昭51）山口能弘（昭45）
山口庄一（昭53）山口一（昭46）
山本敏雄（昭26）山本修平（昭54）
吉田健（昭53）吉田圭子（昭50）
吉森正明（昭53）渡辺雅信（昭48）
度会直也（昭52）浅野照雄（昭53）
阿弥和朗（昭53）

喫茶　ベカ　地下鉄東梅田・日興証券ビルB1　電313―6774

吉川英治文化賞
昇地夫妻が授賞
社会福祉法人いのみち学園（福岡市南区井尻一の四〇の六）の昇地（しょうち）三郎理事長（昭12大法）同露子さん夫妻に、第十四回吉川英治文化賞が贈られるという。

脂肪太りが気になる方　特に肥満体質の方に最適
美容健康茶
冷やして飲んでも最高です。
●赤ちゃんからお年寄までおいしくお飲みいただけます。
●中華、和・洋食等どんな料理にも合った、美容健康茶です。
ティーバッグ新発売！
ティーバッグ(20袋入) 850円
ティーバッグ(50袋入) 2,000円
お徳用缶(130g入) 1,300円
中國皇茶　楊貴妃
●お求めは全国デパート・薬局・薬店・茶舗・健康自然食品店・お米屋・スーパーで……品切れの節は、弊社までお申込みください。
●試供品を送りします。ハガキで弊社まで……
試供品請求先様　お申込みは―輸入総発売元　株式会社タムラ
大阪市北区芝田2-6-18商工中金ビル☎(06)373-2101(代)

商標　登録　昌
和洋御菓子司
株式会社　昌月堂
〒556 大阪市浪速区新川3丁目661番地（難波府立体育会館南通り公園前）
電話　631―6565
641―1666（代）
641―6565
山本雅巳（昭和53年法学部卒）

80年代に躍進する“印刷産業”
東洋紙業は
印刷文化の向上と
情報化社会の発展に
貢献します
つねに新しい提案を――“考える印刷”を使命とします
東洋紙業株式会社
本社：大阪市浪速区芦原2-3　☎(06)568-0011(大代)　〒556
東京支社：東京都品川区南品川6-1　☎(03)474-3251(代)　〒140
工場：関西／芦原、平野、美原、東大阪　関東／品川、横浜、王子
営業所／札幌、広島、九州
営業品目：商業印刷、出版印刷、ビジネスフォーム印刷、各種紙器

大阪の中のフランス
クリヨン
新入社員歓迎会・同窓会にどうぞ
●純フランス料理　クリヨン　新阪急ホテル北隣・北阪急ビル2F　06―3[illegible]―5762
●ジャンヌダルク　新阪急ホテル北隣・ギャザ阪神6F　06―373―2325
●シェ・クリヨン　阪急グランドビル32番街　06―315―8325
●ビストロ・ド・クリヨン　阪急三番街　06―372―8174
代表取締役　小林一達
営業支配人　下村八郎　昭39年卒業生

樹氷・霧氷の花咲く
大阪の屋根　銀世界の
金剛山へ　登りま
しょう　そして
お帰り　には
太平記の里　千早赤阪村森屋　喫茶　カタロ　TEL 07217(2)1079
カタロで語りあいましょう
（昭和23 大法卒 井上武彦）

TOMORROW! たしかな明日のために　住友信託銀行
財産づくりの早道！
住友の財産形成信託
●㊗300万円と合わせて800万円まで非課税。
●積立金は1,000円単位でしかも給料・ボーナスから天引きです。
●積立金は元金保証の住友の金銭信託・貸付信託を中心に運用しますから安全で高利回りです。
たしかな明日のために……
幅広い業務をお役立てください。
住友の貸付信託・住友のルック〔海外旅行〕信託
住友の金銭信託・住友の交通安全信託
普通預金・通知預金・定期預金
不動産の売買の仲介・株式代理売買など
●くわしい資料をお送りします。下記の住友信託銀行へご請求ください。
本店営業部
大阪市東区北浜5丁目（新住友ビル）
電話(06)220-2121(代)　郵便番号541